

SERENA

簡単早わかりガイド

本書は、運転操作や装備の基本的な操作を抜粋して説明しています。

詳しい取り扱いについては、別冊の取扱説明書をお読みください。

取り扱い方法をパソコンやスマートフォンでもご覧いただけます。

右の QR コードを読み取るか、URL を直接入力すると
電子取扱説明書、簡単早わかり動画が閲覧できます。

[https://www.nissan.co.jp/OPTIONAL-PARTS/
NAVIOM/index_serena_epwr.html](https://www.nissan.co.jp/OPTIONAL-PARTS/NAVIOM/index_serena_epwr.html)

サイトの閲覧には別途、通信料が発生します。

パケット定額サービスなどの料金制度に加入されていない場合、
パケット通信料が高額となる場合がありますので予めご注意ください。

電子取扱説明書



簡単早わかり動画



本書掲載のマーク



記載された内容に関連した項目の参照先を示しています。



スイッチやレバーなどの操作方向を示しています。



知っていると便利な情報を記載しています。



ナビゲーションシステムやコントロールパネルなどにあるスイッチを表します。



車両型式、オプションなどで異なる装備を示しています。

※ 車両の仕様変更により、本書の内容が実車と一致しない場合がありますのであらかじめご了承ください。

運転しよう

ドアの施錠・解錠のしかた	4
オートスライドドア★の使いかた	5
デュアルバックドアの使いかた	13
e-POWER システムの始動・停止	15
燃費を良くするためのポイント	17
インテリジェントキーの電池が切れたとき	18
オートACC（アクセサリー）	19
ドアミラーを調節する	20
インテリジェントルームミラー★の使いかた	21
パーキングブレーキ（足踏み式）★の使いかた	22
電動パーキングブレーキ★の使いかた	23
オートブレーキホールド★の使いかた	24
ライトスイッチの使いかた	25
ワイパー／ウォッシャーの使いかた	31
セレクトレバー	32
パワーメーター	34
アドバンスドドライブアシストディスプレイ	35
給油のしかた	39

エアコンを使ってみよう

オートデュアルエアコン★／	
オートエアコン＋リヤクーラー★	41
オートデュアルエアコン（後席用）★	42
リヤクーラー★	43
ヒーターシート★	44
ステアリングヒーター★	44

便利機能を使いこなそう

e-POWER Drive	45
チャージモード	49
マナーモード	50
車両接近通報装置	50
シートの調節のしかた	51
シートベルトの着用	56
インテリジェント アラウンドビューモニター (移動物 検知機能付) *	59
USB 電源ソケットの位置、使いかた	61

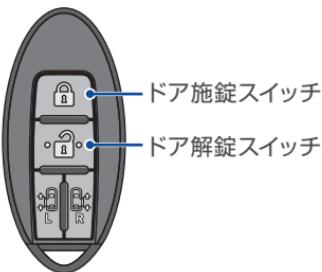
走行支援機能について

インテリジェント エマージェンシーブレーキ	62
インテリジェント FCW (前方衝突予測警報)	64
クルーズコントロール*	65
プロパイロット*	66
踏み間違い衝突防止アシスト	69
BSW (後側方車両検知警報)	70
インテリジェント BSI (後側方衝突防止支援システム)	70
インテリジェント LI (車線逸脱防止支援システム)	71
LDW (車線逸脱警報)	72
RCTA (後退時車両検知警報)	72
インテリジェント DA (ふらつき警報) *	73
進入禁止標識検知	73
一時停止標識検知	74
最高速度標識検知	74
付録	75

ドアの施錠・解錠のしかた

キーでの施錠・解錠

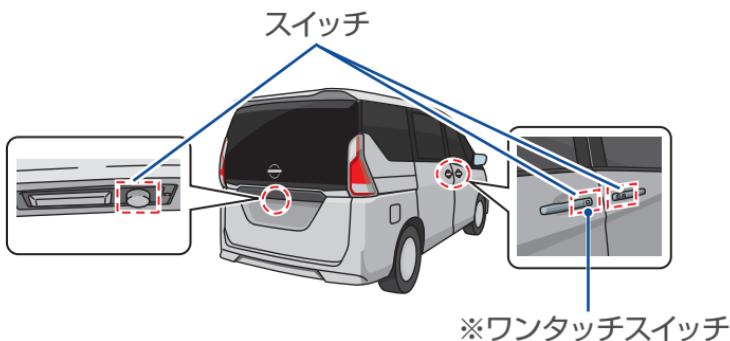
離れたところ（周囲約1m）から全ドアの施錠・解錠ができます。



ドアスイッチでの施錠・解錠

インテリジェントキーを身につけていれば、ドアスイッチを押すだけで全ドアの施錠や解錠ができます。また、施錠時にオートスライドドアのワンタッチスイッチを押すと全ドアが解錠し、スライドドアが自動（電動）で開きます。

→ワンタッチスイッチ：P.8



※施錠時に押すと、解錠するとともにスライドドアが自動（電動）で開きます。

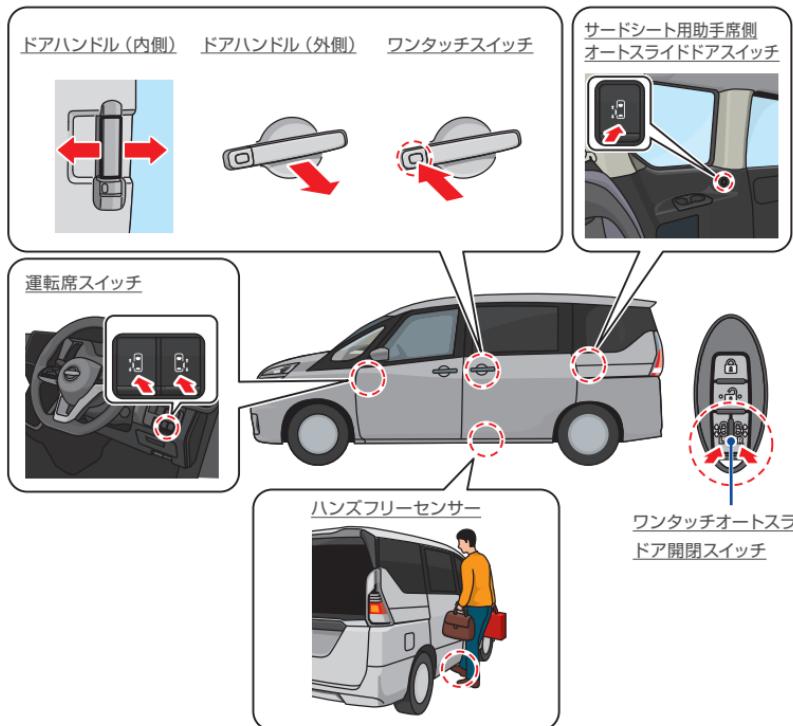
解錠時に押すと、スライドドアを自動（電動）で開閉できます。

- 💡 ドアの施錠・解錠時に車幅灯、尾灯、番号灯が点灯します。
(施錠時 約10秒、解錠時 約30秒)

オートスライドドア★の使いかた

オートスライドドアは、スイッチの操作やハンズフリー機能★でスライドドアを自動（電動）開閉することができます。

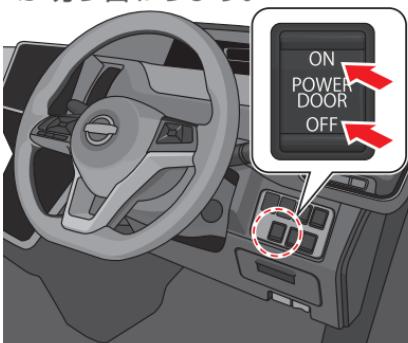
開閉操作をするときは、スライドドア周囲の安全を確認してください。



オートドアメインスイッチ(ハンズフリー機能無車)

自動（電動）開閉機能の ON・OFF が切り替わります。

スイッチ位置	作動
ON	自動（電動）開閉機能を使うときの位置
OFF	自動（電動）開閉機能を停止する位置



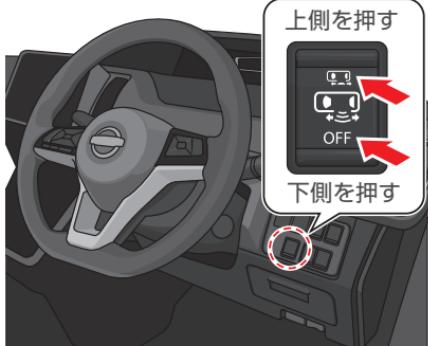
スイッチ位置	運転席スイッチによる開閉操作	ワンタッチオートスライドドア開閉スイッチによる開閉操作	ワンタッチスイッチによる開閉操作	ドアハンドルによる開閉操作	サードシート用助手席側オートスライドドアスイッチによる開閉操作
ON	作動	作動*	作動	作動	作動
OFF	非作動	非作動	非作動	非作動	非作動

*: パワースイッチが ON のときは作動しません。

オートドアメインスイッチ(ハンズフリー機能付車)

ハンズフリーセンサーと自動(電動)開閉機能の ON・OFF が切り替わります。

スイッチ位置	作動
	自動(電動)開閉機能を使うときの位置
	ハンズフリーセンサーおよび自動(電動)開閉機能を使うときの位置
OFF	ハンズフリーセンサーおよび自動(電動)開閉機能を停止する位置

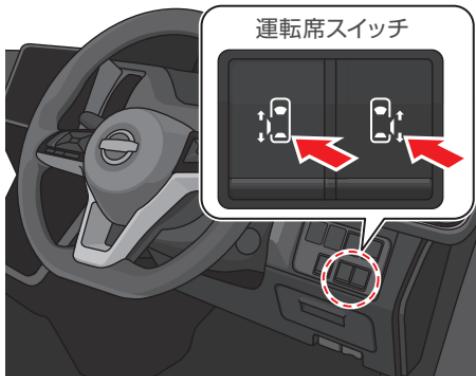


スイッチ位置	運転席スイッチによる開閉操作	ワンタッチオートスライドドア開閉スイッチによる開閉操作	ワンタッチスイッチによる開閉操作	ドアハンドルによる開閉操作	サードシート用助手席側オートスライドドアスイッチによる開閉操作	ハンズフリーセンサーによる開閉操作
	作動	作動*	作動	作動	作動	非作動
	作動	作動*	作動	作動	作動	作動
OFF	非作動	非作動	非作動	非作動	非作動	非作動

*: パワースイッチが ON のときは作動しません。

運転席スイッチ（自動開閉）

運転席スイッチを約1秒間押すことでスライドドアを自動（電動）で開閉することができます。



- 💡 • スライドドアが自動（電動）開閉中にスイッチを押すと、その位置で停止します。もう一度スイッチを約1秒間押すと、停止前とは反対の方向に動き、全開または全閉します。

ワンタッチオートスライドドア開閉スイッチ（自動開閉）

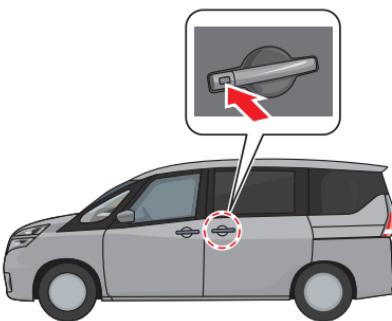
リモコンスイッチのボタンを約1秒間押すとスライドドアを自動（電動）で開閉することができます。



- 💡 • スライドドアが自動（電動）開閉中にスイッチを押すと、その位置で停止します。もう一度スイッチを約1秒間押すと、停止前とは反対の方向に動き、全開または全閉します。

ワンタッチスイッチ（自動開閉）

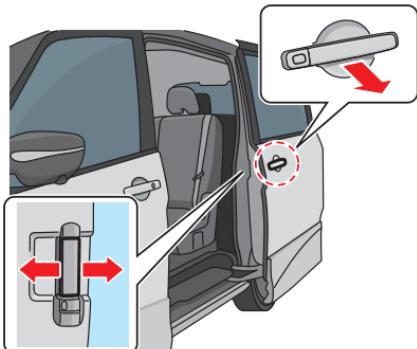
ワンタッチスイッチを押すと、
スライドドアを自動（電動）で
開閉することができます。



- 💡 施錠されているときは、インテリジェントキーを携帯してください。
- スライドドアが自動（電動）開閉中にスイッチを押すと、その位置で停止します。もう一度スイッチを押すと、停止前とは反対の方向に動き、全開または全閉します。

ドアハンドル（自動開閉）

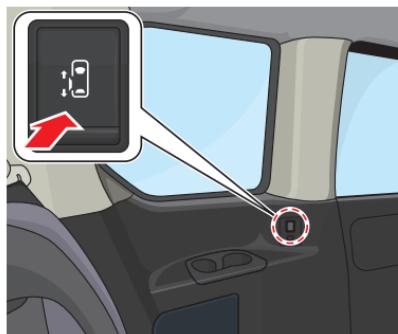
外側または内側のドアハンドルを操作すると、スライドドアを自動（電動）で開閉することができます。



- 💡 チャイルドセーフティドアロックがかかっているときは、内側のドアハンドルで、自動（電動）開作動はしません。（自動（電動）閉作動は作動します。）
- スライドドアが自動（電動）開閉中にドアハンドルを操作すると、その位置で停止します。もう一度外側のドアハンドルを操作すると、停止前とは反対の方向に動き、全開または全閉します。また、内側のドアハンドルでは操作した任意の方向に動き、全開または全閉します。

サードシート用助手席側オートスライドドア スイッチ（自動開閉）

サードシート用助手席側オートスライドドアスイッチを約1秒間押すと、スライドドアを自動（電動）で開閉することができます。



- 💡 スライドドアが自動（電動）開閉中にスイッチを押すと、その位置で停止します。もう一度スイッチを約1秒間押すと、停止前とは反対の方向に動き、全開または全閉します。
- ・ チャイルドセーフティドアロックがかかっているときは、サードシート用助手席側オートスライドドアスイッチで、自動（電動）開作動はしません。（自動（電動）閉作動は作動します。）

ハンズフリーセンサー(ハンズフリー機能付車)

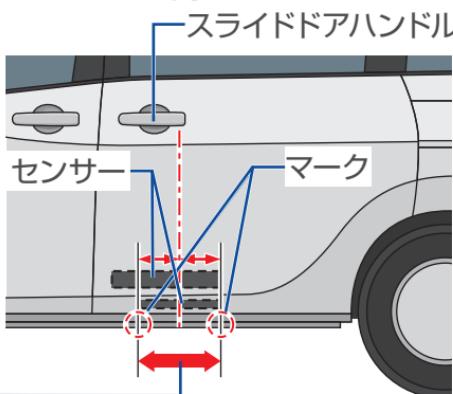
スライドドアの下部に設けられたセンサーによって足の動きを感じし、スライドドアの開閉を自動（電動）で行います。

スライドドア下部にあるマークとマークの間がハンズフリーセンサー有効範囲です。

有効範囲の間で足先の出し入れを行ってください。

足を入れる位置

目安：スライドドアハンドル
後端部の真下あたり



- 💡 足を入れたままにしていると作動しません。
- スライドドアが自動（電動）開閉中に、再度、足先を入れて引く動作を行ってもスライドドアは停止しません。また、自動（電動）開閉中にスイッチ操作などにより任意で停止させた位置から、足先を入れて引く動作を行っても自動（電動）開閉作動はしません。

・開けかた

1 インテリジェントキー
を携帯します。

2 オートドアメインス
イッチが中立位置にあ
ることを確認します。

3 スライドドアハンドル
後端部の真下あたりを
狙って、足を入れ止め
ずにすぐに引くとスラ
イドドアが自動的に全
開します。
(膝を曲げずに振り子
のように足を振りあげ
ると、センサーが反応
しやすくなります。)



・閉めかた

1

インテリジェントキー
を携帯します。

2

オートドアメインス
イッチが中立位置にあ
ることを確認します。

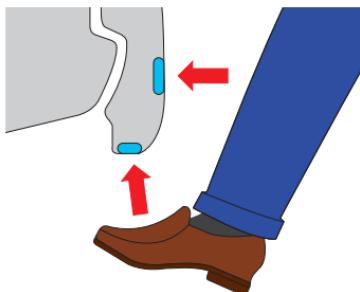
3

スライドドアハンドル
後端部の真下あたりを
狙って、足を入れ止め
ずにすぐに引くとスラ
イドドアが自動的に全
閉します。

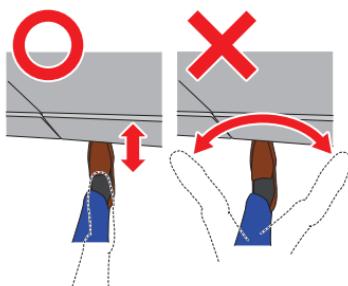
(膝を曲げずに振り子
のように足を振りあげ
ると、センサーが反応
しやすくなります。)



・足のつま先とすねの両方をセ
ンサーに近づけてください。



・足はスライドドアに対して垂
直方向に動かしてください。



・足先を出し入れしたあと、スライドドアが動き出すまで少しお待ちく
ださい。「ピッピッ」というブザー音が鳴りドアが自動的に開閉します。

全ドア連動ロック機能について

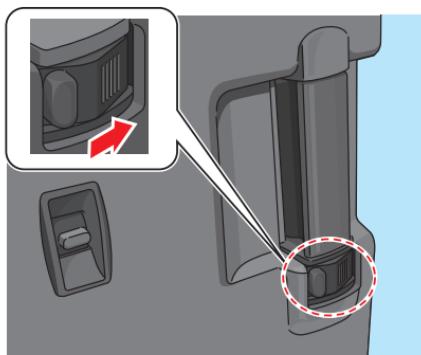
以下の手順でスライドドアを閉めると、スライドドアが全閉すると同時に全ドアが施錠されます。

1

ロックノブを操作するスライドドア以外のドアを閉めます。

2

スライドドアが全開の状態で、スライドドアの車室内ロックノブを車両前方に動かします。



3

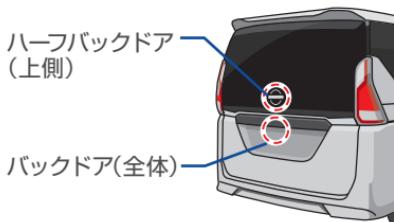
車外からスライドドアを閉めます。



・パワースイッチが ON のとき、または車室内にインテリジェントキーが残っているときは、施錠されません。

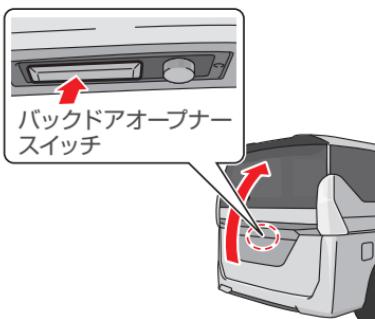
デュアルバックドアの使いかた

デュアルバックドアはバックドア（全体）とハーフバックドア（上側）があり、それぞれ別々に開閉することができます



バックドア（全体）の開けかた

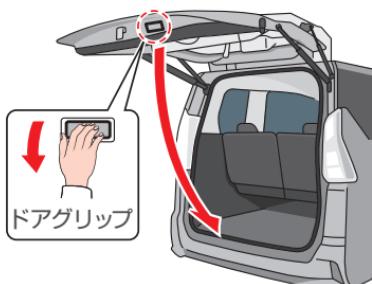
解錠後、スイッチを押すとバックドア（全体）が開きます。



💡・インテリジェントキーを携帯していれば、施錠されていてもバックドア（全体）を開けることができます。

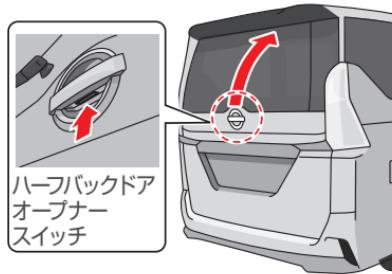
バックドア（全体）の閉めかた

ドアグリップに手を掛けてバックドア（全体）を降ろし、確実にロックするまで押しつけます。



ハーフバックドア（上側）の開けかた

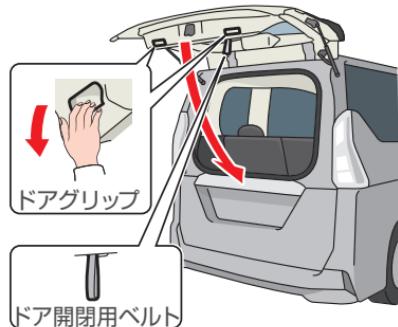
解錠後、スイッチを押すとハーフバックドア（上側）が開きます。



- 💡・インテリジェントキーを携帯していれば、施錠されてもハーフバックドア（上側）を開けることができます。

ハーフバックドア（上側）の閉めかた

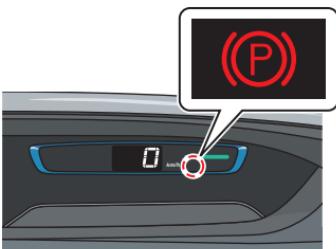
ドアグリップまたはベルトに手を掛けてハーフバックドア（上側）を降ろし、確実にロックするまで押しつけます。



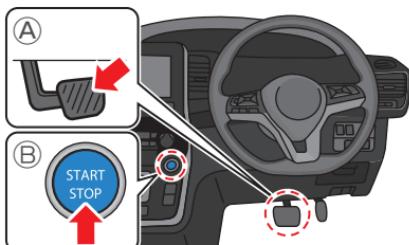
e-POWER システムの始動・停止

e-POWER システムを始動する

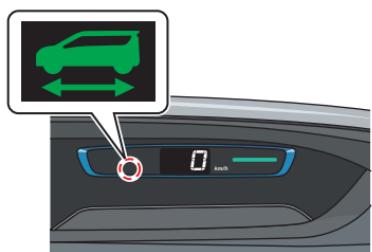
- 1 パーキングブレーキ
がかかっていることを
確認してください。



- 2 ブレーキペダルⒶを
しっかり踏み込みます。



- 3 パワースイッチⒷを確
実に押します。



- 4 走行可能表示灯➡➡
が点灯したことを確認しま
す。

-  : 走行可能表示灯  が消灯している状態では走行できません。
- : ブレーキペダルが硬く踏みづらくなっている場合があります。そのときは、通常よりも強くブレーキペダルを奥までしっかり踏み込んで、パワースイッチを押してください。



- ・ e-POWER システムが始動できない場合には、一旦パワースイッチを OFF にして、5 秒以上待ってから再始動してください。

e-POWER システムを停止する

1

ブレーキペダルを踏みながら、パーキングブレーキをかけて、セレクトレバーの下側にある \textcircled{P} スイッチを押し、シフトポジションを **P** に切り替えます。

2

パワースイッチを押すと、e-POWER システムが停止します。

-  ・ シフトポジションを **P** に切り替えずにパワースイッチを OFF になると、自動的にシフトポジションが **P** に切り替わります。(オート P 機能)

→セレクトレバー: P.32

燃費を良くするためのポイント

燃費は、道路状況、天候や気温、乗員数などに大きく左右されます。次のようなことに気をつけ電力の消費を抑えると、燃費が良くなります。

お出かけ前に

- 電力の消費が少ないルートを選択する（登り坂の走行は電力の消費が多くなります。登り坂の少ないルートを選択すると電力の消費を抑えられます）
- 不要な荷物は積んだままにしない
- 適切なタイヤ空気圧にする

運転するときは

- ドライブモードは ECO モードや S (Smart) モードで走行する

ドライブモードと車両性能の比較

	ドライブモード	シフトポジション	アクセルペダル OFF時の減速度合い	加速力	燃費性能
e-POWER Drive	S (Smart)	D			
	ECO	D			
	NORMAL	D			
		B			

- 暖房使用時の設定温度を控えめ(24.5℃以下)にする(寒いときはヒーターシート*やステアリングヒーター*を使用する)
- デフロスターの使用は必要最低限にする
- なめらかに発進、加速する
- 車間距離に余裕を持って、高速道路では速度を控えめに走行する
- ECO カスタマイズを ON (燃費優先) にする

→ ECO カスタマイズ: P.47

→ e-POWER Drive: P.45

エンジンが作動するシーンについて

e-POWER システムでは下記のようなときにエンジンが作動する場合があります。

- リチウムイオンバッテリーの残量が少ないとき（発電のため）
- アクセルペダルを強く踏み込んだとき（発電のため）
- 暖房を ON にしたとき（熱源となるエンジン水温を上げるため）
- エンジンが冷えているとき（暖機のため）
- e-POWER システムが始動している状態でボンネットを開けたとき（整備時の事故を防止するため）
- ブレーキペダルを踏み込んだとき（ブレーキブースター用負圧生成のため）※
- 長い下り坂を走行しているとき（減速度を生成するため）※

※エンジンは始動していますが燃料は消費しません

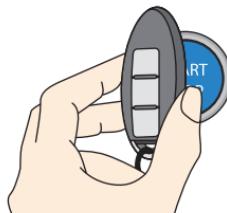
インテリジェントキーの電池が切れたとき

インテリジェントキーの電池が切れたときは、以下の手順でe-POWERシステムを始動してください。

e-POWERシステムの始動

1 パーキングブレーキがかかっていることと、シフトポジションが**P**になっていることを確認してください。

2 ブレーキペダルを踏みながら、インテリジェントキーの裏面をパワースイッチに接触させます。
(ブザーが“ピピッ”と鳴ります。)



3 ブザーが鳴ってから10秒以内に、ブレーキペダルをしっかりと踏み込んだままパワースイッチを押します。



- ・ブレーキペダルから足を離してパワースイッチを押すと、電源ポジションが切り替わります。
- ・e-POWERシステムを停止するときは、シフトポジションを**P**にしてからパワースイッチを押してください。

オート ACC (アクセサリー)

オート ACC 機能は、e-POWER システム停止時でも、電装品が使える便利な機能です。

オート ACC の作動

次の状態のときにオート ACC は作動します。

- ・ ドアを解錠したとき（インテリジェントキー機能で解錠したとき）
- ・ e-POWER システムを停止したとき

オート ACC の停止

次の状態のときにオート ACC は停止します。

- ・ オート ACC 状態のまま約 13 分間経過したとき
- ・ ドアを施錠し、約 3 分間経過したとき（インテリジェントキー機能で施錠したとき）



- ・ ディーラーオプションのナビゲーションシステムについては、オート ACC 機能は作動しません。

ドアミラーを調節する

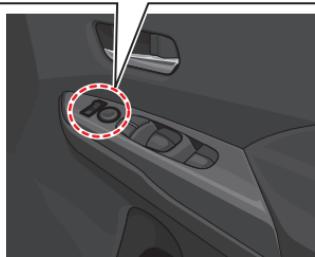
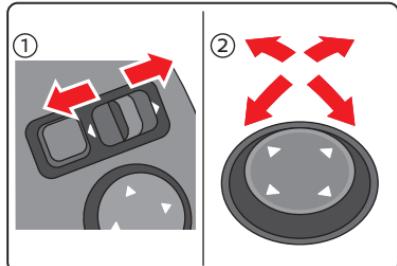
角度調節のしかた

1

左右切り替えスイッチ①を調節する側に動かします。

2

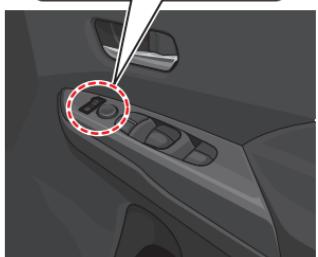
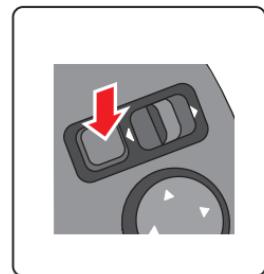
角度調節スイッチ②を前後・左右に押して、後方が十分確認できる位置に調節します。



格納のしかた

スイッチを押します。

スイッチ位置	作動
	閉
	開



キーロック連動格納機能は、スイッチが押し込まれていない状態で作動します。ドアの施錠に連動してミラーを閉じることができ、パワースイッチをONになるとミラーが開きます。

インテリジェント ルームミラー★の使いかた

インテリジェント ルームミラーモードに切り替えると、車両後方にあるカメラで映し出された映像（モニター表示）に切り替わります。

インテリジェント ルームミラーを使う

- 走行前にルームミラーモード（鏡面）の状態で、ミラー本体の角度を調節してから使用します。
- インテリジェント ルームミラーモード（モニター表示）にすることは、パワースイッチを ON にし、ON・OFF 切り替えレバーを手前に倒します。
- ルームミラーモード（鏡面）にすることは、ON・OFF 切り替えレバーを前方へ倒します。

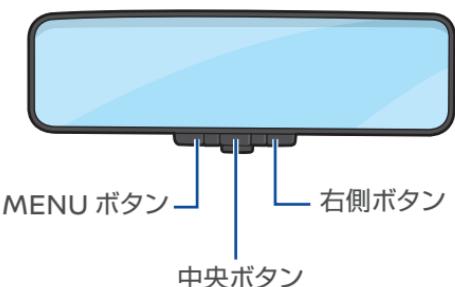


- 💡 • 周囲の明るさにより見づらかったり、眩しく感じたときはインテリジェント ルームミラーモード（モニター表示）を OFF にし、ルームミラーモード（鏡面）で使用してください。

画像調節のしかた

インテリジェント ルームミラーモード（モニター表示）のときに、MENU ボタンを押すと、各種調節ができます。MENU ボタンを押して項目を切り替え、中央ボタン、右側ボタンで調節します。

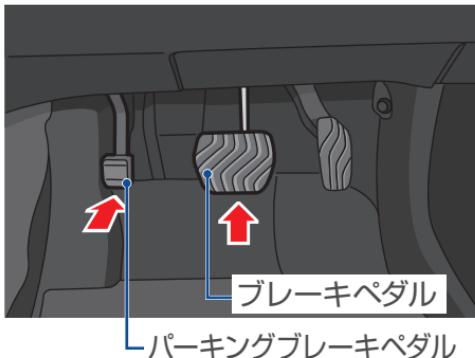
- BRIGHTNESS (明るさ)
- DOWN/UP (上下)
- LEFT/RIGHT (左右)
- ROTATION (回転)
- INDICATION (モニター文字表示、非表示の切り替え)



パーキングブレーキ(足踏み式)★の使いかた

パーキングブレーキのかけかた

パーキングブレーキをかけるときは、右足でブレーキペダルを踏みながら、左足でパーキングブレーキペダルをいっぱいに踏み込みます。



パーキングブレーキの解除のしかた

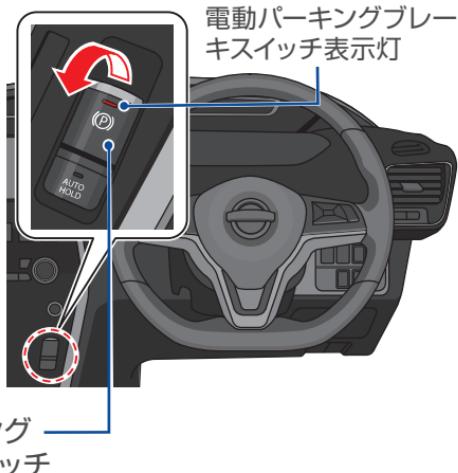
解除するときは、右足でブレーキペダルを踏みながら、左足でパーキングブレーキペダルを“カチッ”と音がするまで踏み、ゆっくりと離します。

電動パーキングブレーキ★の使いかた

スイッチ操作で、パーキングブレーキをかけることができます。

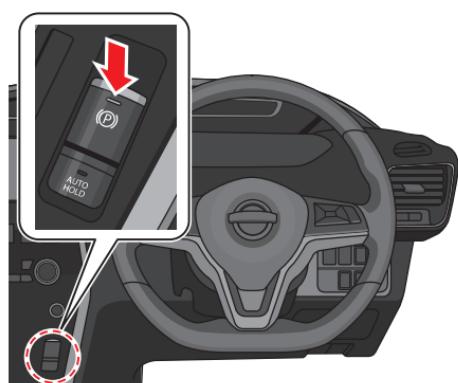
電動パーキングブレーキのかけかた

- ・ ブレーキペダルをしっかりと踏みます。
- ・ 電動パーキングブレーキスイッチを引き上げます。スイッチを引き上げると、電動パーキングブレーキスイッチの表示灯が点灯し、メーター内の電動パーキングブレーキ警告灯（赤色）が、約2秒後に点灯します。



電動パーキングブレーキの解除のしかた

- ・ ブレーキペダルをしっかりと踏みます。
- ・ 電動パーキングブレーキスイッチを押し下げます。スイッチを押し下げると、電動パーキングブレーキスイッチの表示灯が消灯し、電動パーキングブレーキが解除されるとメーター内の電動パーキングブレーキ警告灯（赤色）が消灯します。



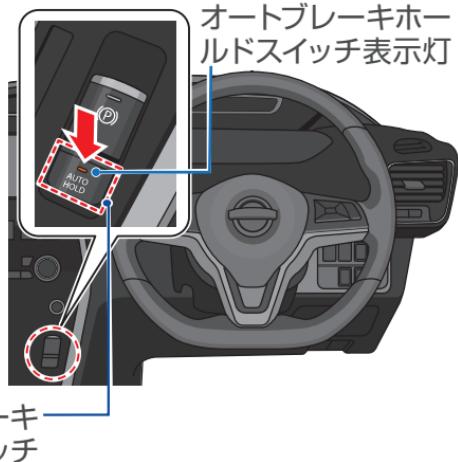
- 💡** 電動パーキングブレーキがかかっている状態で運転席シートベルトを着用し、シフトポジションが **D** または **R** のときアクセルペダルを踏み込むと、パーキングブレーキが解除されます。
- ・ 電動パーキングブレーキの詳しい操作方法は、取扱説明書をご覧ください。

オートブレーキホールド★の使いかた

オートブレーキホールド機能は、信号待ちなどで停車中にブレーキ力を保持する機能です。

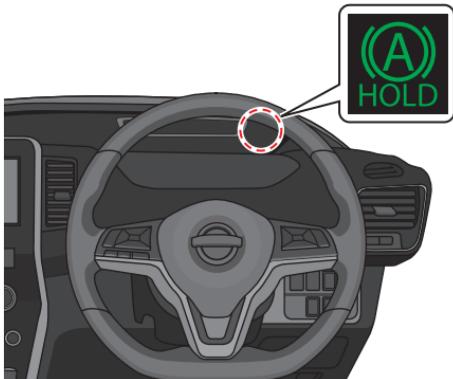
オートブレーキホールドの ON・OFF のしかた

- ・ オートブレーキホールドスイッチを押します。
- ・ ONになると、オートブレーキホールドスイッチ表示灯が点灯します。
- ・ 使用できる条件になるとメーター内のオートブレーキホールド表示灯（白色）が点灯します。



オートブレーキホールドの作動

- ・ ブレーキペダルを踏んで停車します。
オートブレーキホールド表示灯が白色から緑色に変わり、
ブレーキペダルを踏み続け
なくてもブレーキ力が保持さ
れます。
- ・ アクセルペダルを踏むと保
持を解除し、発進します。

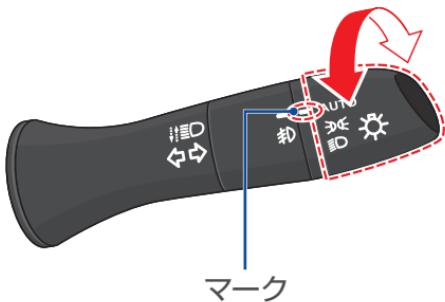


ライトスイッチの使いかた

ライトの点灯・消灯

スイッチを回してスイッチ位置をマークに合わせます。

スイッチ位置	点灯する灯火
AUTO	ヘッドライト、車幅灯、尾灯、番号灯が自動点灯・消灯
←→	車幅灯、尾灯、番号灯が点灯 ヘッドライトが自動点灯・消灯
↔	ヘッドライト、車幅灯、尾灯、番号灯が点灯



AUTO (自動点灯・消灯) の使いかた

- パワースイッチが ON のときは、スイッチ位置を AUTO の位置にすると、車外の明るさに応じてヘッドライトや車幅灯などを点灯・消灯させます。
- パワースイッチが OFF のときは消灯します。
- ライトスイッチが AUTO の位置で、パーキングブレーキをかけている場合は、パワースイッチを ON にしてもランプは点灯しません。

（ヘッドライト自動点灯・消灯）の使いかた

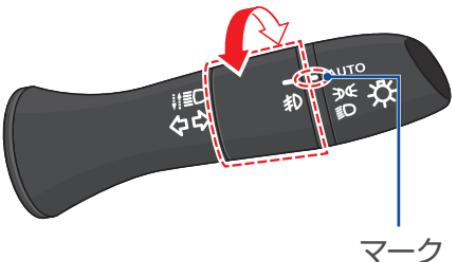
- パワースイッチが ON のとき、スイッチ位置を の位置になると、車外の明るさに応じてヘッドライトを点灯・消灯させます。
- 以下の場合はヘッドライトが消灯し、車幅灯などが点灯します。
 - パワースイッチが OFF のとき
 - セレクトレバーが のとき
 - 車両が停止している状態で、パーキングブレーキをかけているとき
 - スイッチ位置が AUTO または でフォグランプ★が点灯している状態から、スイッチ位置を にしたとき

フォグランプ★の点灯・消灯

スイッチを回してスイッチ位置をマークに合わせます。

スイッチ位置	点灯する灯火
	フォグランプ(前部霧灯)が消灯
	フォグランプ(前部霧灯)が点灯

フォグランプは、ヘッドライトまたは車幅灯が点灯しているときに使えます。



ヘッドランプの上下切り替え

＜ライトスイッチが  位置のとき＞

ライトスイッチを車両前方に押すと、ハイビームに切り替わります。ロービームに戻したいときは、ライトスイッチを車両後方に引きます。

＜ライトスイッチが AUTO または  位置のとき＞

ヘッドランプが点灯しているとき、ライトスイッチを車両前方に2回押すとハイビームに切り替わります。(1回押すとハイビームアシスト、またはアダプティブ LED ヘッドライトシステムが ON になります。)

ロービームに戻したいときは、ライトスイッチを車両後方に引きます。

パッシングするときは、ライトスイッチを車両後方に引きます。ハイビームの状態からパッシングしたいときは、ライトスイッチを2回車両後方に引きます。



- 💡 • ライトスイッチは車両前方に押しても車両後方に引いても、手を離すと自動で中立位置に戻ります。

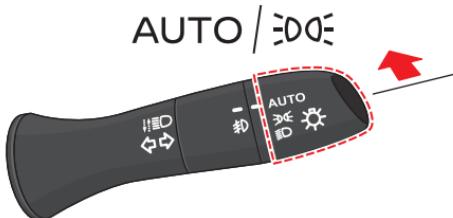
ハイビームアシスト(ハロゲンヘッドライト付車)

先行車または対向車や周囲の明るさなどに応じ、ハイビーム（上向き）とロービーム（下向き）が切り替わります。約 25km/h 以上で走行中、ヘッドライトが点灯しているときに切り替えを行い、約 15km/h 以下になるとロービーム（下向き）に切り替わります。

<ハイビームアシストを ON にする方法>

ライトスイッチが AUTO または  の位置でレバーを車両前方に押すと、ハイビームアシストが ON になります。（メーター内のハイビームアシスト表示灯が点灯）

ハイビームアシスト ON



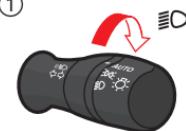
<ハイビームアシストを OFF にする方法>

次のいずれかの操作をすると、ハイビームアシストが OFF になります。

ハイビームアシスト OFF

- ハイビームのとき
- ① ライトスイッチを  位置にする
- ② ライトスイッチを車両前方に押す（ハイビームに切り替わります）
- ③ ライトスイッチを車両後方に引く（ロービームに切り替わります）

①



②



③



- ロービームのとき
- ① ライトスイッチを  位置にする
- ② ライトスイッチを車両前方に押す（ハイビームに切り替わります）

アダプティブ LED ヘッドライトシステム (LED ヘッドランプ付車)

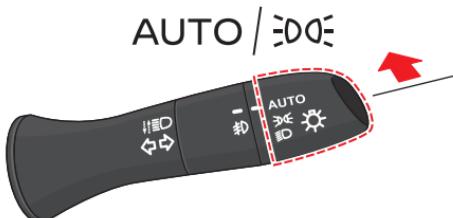
先行車や対向車に照射しないよう、自動的にハイビーム（上向き）の照射範囲を切り替えます。約 30km/h 以上で走行中、ヘッドランプが点灯しているときに切り替えを行い、約 15km/h 以下になるとロービーム（下向き）に切り替わります。

<アダプティブ LED ヘッドライトシステムを ON にする方法>

ライトスイッチが AUTO または  の位置でレバーを車両前方に押すと、アダプティブ LED ヘッドライトシステムが ON になります。

（メーター内のアダプティブ LED ヘッドライト表示灯が点灯）

アダプティブ LED ヘッドライト システム ON



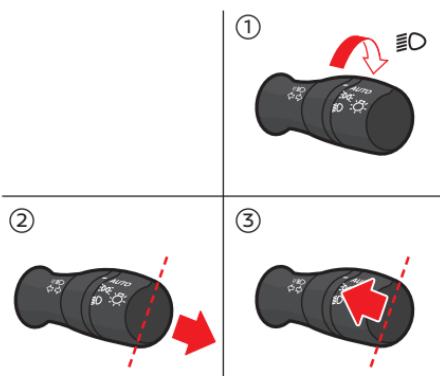
<アダプティブ LED ヘッドライトシステムを OFF にする方法>

次のいずれかの操作をすると、アダプティブ LED ヘッドライトシステムが OFF になります。

- ・アダプティブ LED ヘッドライトシステムが制御中のとき

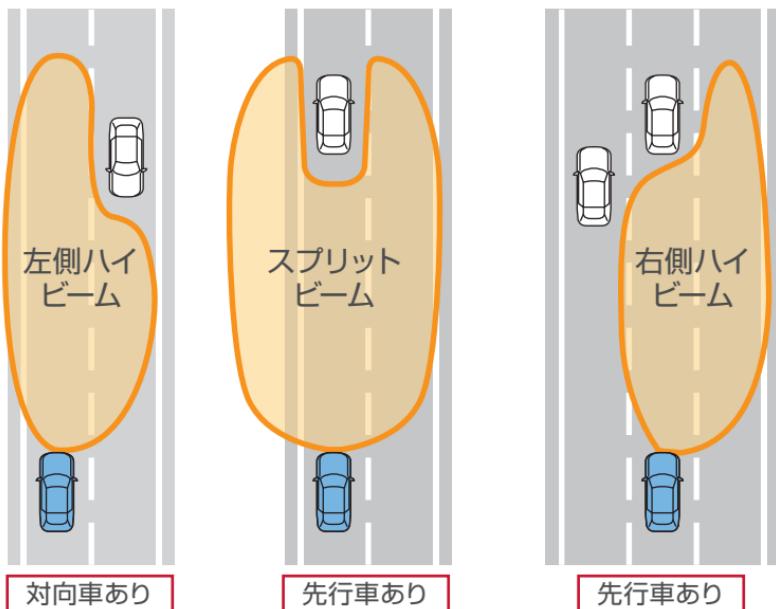
- ① ライトスイッチを  位置にする
- ② ライトスイッチを車両前方に押す（ハイビームに切り替わります）
- ③ ライトスイッチを車両後方に引く（ロービームに切り替わります）

アダプティブ LED ヘッドライト システム OFF



- ・アダプティブ LED ヘッドライトシステムが制御していないとき
- ① ライトスイッチを  位置にする
 - ② ライトスイッチを車両前方に押す（ハイビームに切り替わります）

- ・照射パターンは常に変化します。

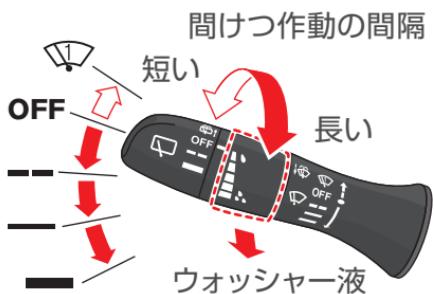


- ・周囲の状況により、正しく作動しない場合があります。システムを過信せず、必要に応じてハイビーム（上向き）とロービーム（下向き）を手動で切り替えてください。詳しくは取扱説明書をお読みください。

ワイパー／ウォッシャーの使いかた

フロントワイパー

スイッチ位置	作動
	1回作動
OFF	停止
---	間けつ作動 (スイッチを回して作動間隔の長い、短いを調節)
—	低速連続作動
—	高速連続作動



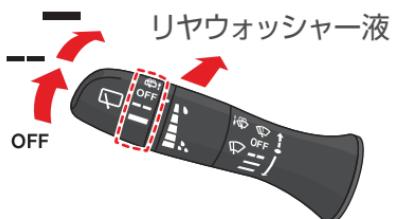
スイッチを手前に引くとフロントウォッシャー液が噴射し、ワイパーが数回作動します。

- 💡 **---** (間けつ作動) のときは、自動で作動間隔が短くなる車速感知式を設定しています。(車速が速くなると、フロントガラスに付着する雨の量が多くなるため)

リヤワイパー

スイッチ位置	作動
OFF	停止
---	間けつ作動 (調節機能なし)
—	連続作動

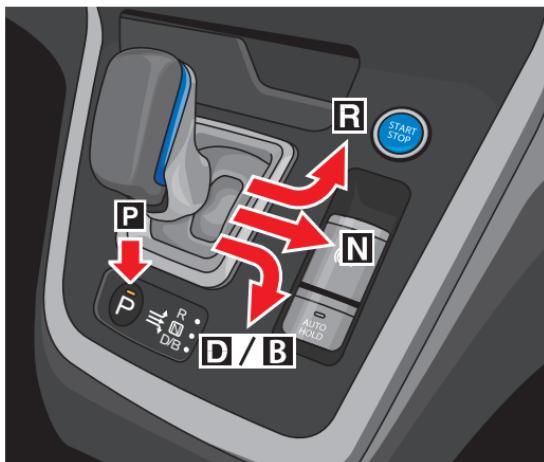
スイッチを車両前方に押すとリヤウォッシャー液が噴射し、ワイパーが数回作動します。



- 💡 フロントワイパー作動中にシフトポジションを **R** にすると、リヤワイパーが間けつで作動します。

セレクトレバー

セレクトレバーの使いかた



P	セレクトレバーの下側にあるⒶスイッチを押します。
R	ブレーキペダルを踏みながら、セレクトレバーをゲートに沿って車両前方へスライドさせます。
N	ブレーキペダルを踏みながら、右にスライドさせ、しばらく保持します。
D	ブレーキペダルを踏みながら、セレクトレバーをゲートに沿って右手前にスライドさせます。
B	D のときに右手前にスライドすると B に切り替わります。もう一度スライドすると D に戻ります。 (NORMALモードのみ)

S (Smart) モードや ECO モードのときはシフトポジションを**B**に切り替えることはできません。

→ e-POWER Drive : P.45

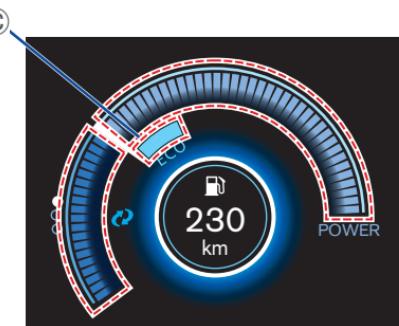
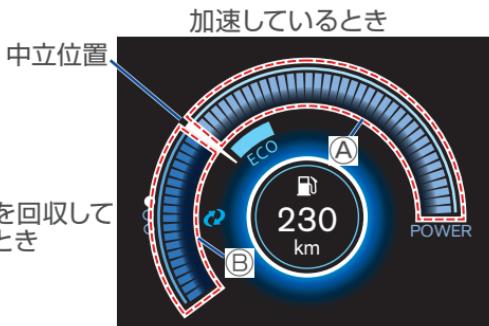
各シフトポジションの働き

シフト ポジション	役割
P	駐車および e-POWER システムを始動するときの位置
R	後退するときの位置
N	動力が伝わらない状態の位置
D	通常走行するときの位置
B	下り坂などで、強い回生ブレーキが必要なときの位置

パワーメーター

走行中の出力と回生力（電力の回収量）を表示します。

- 一定の速度で走行しているときや加速しているときは、ゲージが中立位置より右側Ⓐに表示されます。
- 急加速など、多くの電力を消費しているときほど、ゲージが右側Ⓐに増えていきます。
- 電力を回収しているときは、ゲージが中立位置から左側Ⓑに増えます。ゲージが左側Ⓑに増えると、多くの電力を回収していることを表します。
- ゲージⒸは ECO ゾーンです。
- ECO ゾーンの範囲を目安に運転すると、電力を抑えられるため、エコドライブにつながります。
- ECO ゾーンは車速に応じて範囲が変化します。
- ECO ゾーンは ECO モードとは関係ありません。



アドバンスドドライブアシストディスプレイ

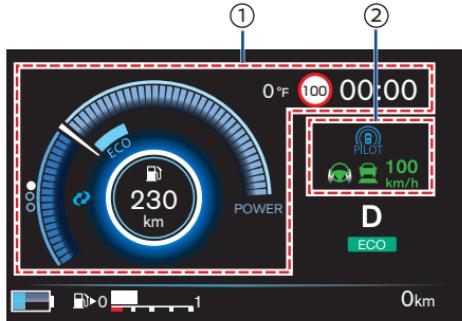
ディスプレイの表示項目

次の項目を表示します。

- ①・e-POWER グループ 
- ・エコグループ 
- ・インフォメーショングループ 
- ・警告 
- ・設定 
 - 運転支援システムの
ON・OFF
 - 時計の調節など
 - ・時計表示
 - ・最高速度標識表示
 - ・外気温度表示
- ②・運転支援システム
 - プロパイロット*
 - クルーズコントロール*など

→プロパイロット: P.66

→クルーズコントロール: P.65

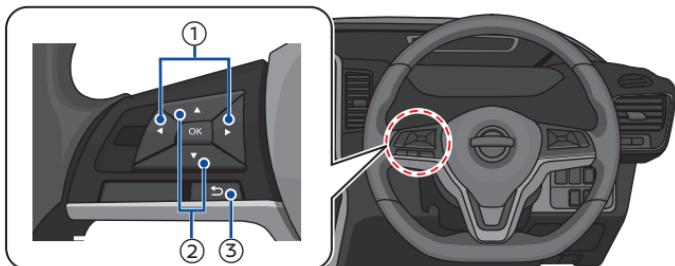


- ・グレード、オプションなどにより表示項目は異なります。

ディスプレイの切り替えかた

ステアリングスイッチでメーター内の画面表示が切り替わります。

- ①を押すと、e-POWER グループ  ⇒ エコグループ  ⇒ インフォメーショングループ  ⇒ 警告  ⇒ 設定  ⇒ e-POWER グループ  の順に表示が切り替わります。
- ②を押すと、各項目の表示メニューが選択できます。
- ③を押すと前の画面に戻ります。



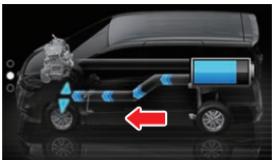
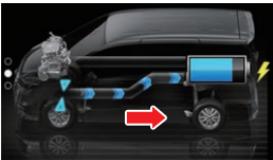
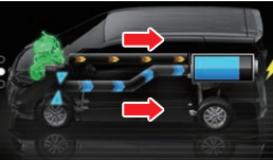
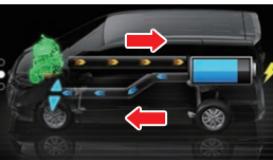
各種設定のしかた

インテリジェント エマージェンシーブレーキ ON・OFF の設定例

「設定 」 ⇒ 「運転支援システム」 ⇒ 「エマージェンシーブレーキ」 ⇒ 「システム」を選択するとインテリジェント エマージェンシーブレーキ機能の ON・OFF を切り替えることができます。

エネルギーモニター

メーター内のディスプレイにエンジン、リチウムイオンバッテリーおよびタイヤ間のエネルギーの流れを表示します。

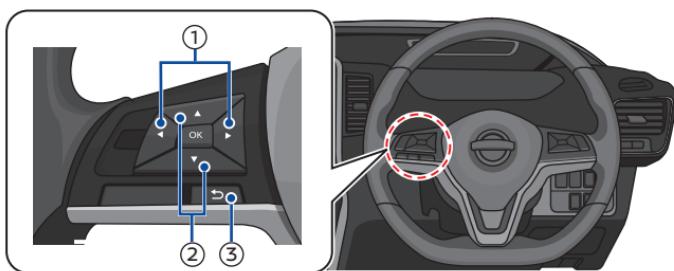
ディスプレイ表示	状態
	リチウムイオンバッテリーに蓄えられたエネルギーを使って走行している状態
	回生ブレーキを使って、リチウムイオンバッテリーを充電している状態
	エンジンと回生ブレーキ、両方のエネルギーで充電している状態
	<ul style="list-style-type: none"> エンジンで発電したエネルギーで、走行と充電の両方をしている状態 エンジンで発電したエネルギーとリチウムイオンバッテリーに蓄えられたエネルギー、両方を使って走行している状態 エンジンで発電したエネルギーを使って走行している状態
	エンジンで発電したエネルギーで、リチウムイオンバッテリーを充電している状態
	エネルギーの流れがない状態

ディスプレイ表示	状態
	<ul style="list-style-type: none"> アクセルを急に踏み込み、エンジンの回転数が高くなっている状態 ボンネットが開いているため、エンジンが作動している状態
	リチウムイオンバッテリーを充電している状態
	リチウムイオンバッテリーのエネルギー残量表示

ディスプレイの切り替えかた

ステアリングスイッチでメーター内の画面表示が切り替わります。

- ①を押すと、e-POWER グループ  ⇒ エコグループ  ⇒ インフォメーショングループ  ⇒ 警告  ⇒ 設定 ⇒ e-POWER グループ  の順に表示が切り替わります。
- e-POWER グループ  を選択します。
- ②を押して項目を選択し、エネルギーモニターを表示します。
- ③を押すと前の画面に戻ります。



給油のしかた

給油口の開けかた

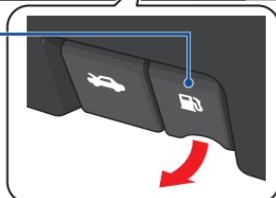
給油口は運転席側の車両後方にあります。

運転席右下にあるオープナーを引きリッドを開けます。



オープナー

- 💡・給油口のオープナーは、レバー先端の中央にくぼみがあります。

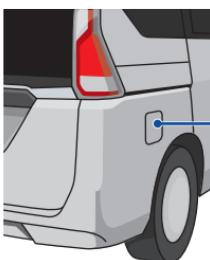


給油のしかた

給油口にキャップはありません。給油ノズルを直接差し込むだけで給油することができます。

給油自動停止後は、給油の継ぎ足しをしないでください。継ぎ足しをすると、燃料があふれて火災につながるおそれがあります。

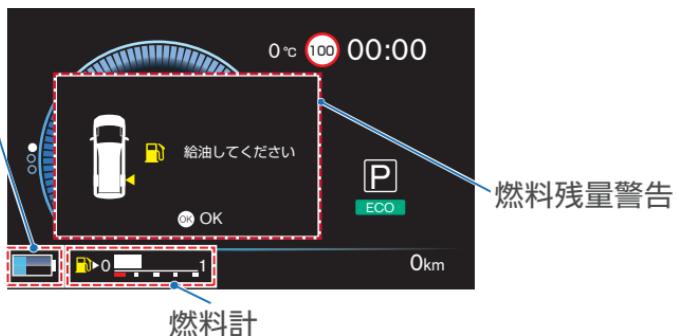
- ・給油ノズルをゆっくりとしっかりと奥まで差し込み、給油します。
- ・給油ノズルが自動停止したら、給油ノズルに残っている燃料がこぼれないように約5秒待ってから給油ノズルを抜き、リッドを閉めます。



リッド

燃料残量警告が表示され燃料計の  が黄色く点灯したときは、すみやかに指定の燃料を補給してください。

リチウムイオンバッテリー残量

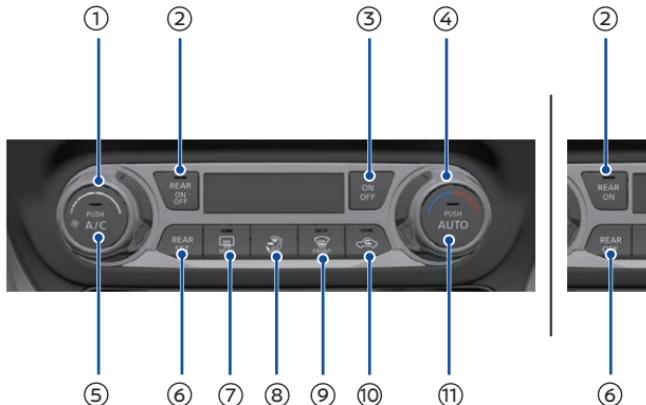


-  • 燃料がなくなると、リチウムイオンバッテリーの残量が残っていても走行不能になるおそれがあります。

→エネルギーモニター: P.37

オートデュアルエアコン★/オートエアコン+リヤクーラー★

各部名称と機能



① 風量調節ダイヤル

ダイヤルを回して風量を切り替えます。

② REAR ON・OFF スイッチ

(オートデュアルエアコン付車)
スイッチを押すごとに、後席用エアコンの ON・OFF を切り替えます。

REAR ON スイッチ

(オートエアコン+リヤクーラー付車)
後席用リヤクーラーが ON になります。

③ ON・OFF スイッチ

スイッチを押すごとに、エアコンの ON・OFF を切り替えます。

④ 温度調節ダイヤル

ダイヤルを回して設定温度を切り替えます。

⑤ A/C スイッチ

スイッチを押すごとに、冷房・除湿機能の ON・OFF を切り替えます。

⑥ REAR SET スイッチ

(オートデュアルエアコン付車)
表示部に REAR と表示され、前席で後席用エアコンを操作できます。

REAR OFF スイッチ

(オートエアコン+リヤクーラー付車)
後席用リヤクーラーが OFF になります。

⑦ リヤウインドーデフォッガー スイッチ

バックドアガラスのくもりが取れます。

⑧ 吹き出し口切り替えスイッチ

スイッチを押すごとに、吹き出し口が切り替わります。

⑨ デフロスター スイッチ

フロントガラスのくもりが取れます。

⑩ 内外気切り替えスイッチ

スイッチを押すごとに、内気循環、外気導入が切り替わります。
(内気循環のとき、スイッチの表示灯が点灯します。)

⑪ AUTO スイッチ

自動制御に切り替えます。
吹き出し温度、吹き出し口、風量の切り替えを自動で制御して設定した温度に保ちます。

オートデュアルエアコン(後席用)★

各部名称と機能

前席用エアコン作動時に使えます。また、前席で REAR ON・OFF スイッチを押していない場合でも、AUTO スイッチを押すと使うことができます。後席エアコン操作部は、セカンドシートの天井部中央にあります。



① OFF スイッチ

後席エアコンが OFF になります。

② 風量調節スイッチ

風量を調節します。
+…風量が多くなる
-…風量が少なくなる

③ AUTO スイッチ

吹き出し温度、吹き出し口、風量の切り替えを自動で制御して設定した温度に保ちます。

④ 吹き出し口切り替えスイッチ
スイッチを押すごとに、吹き出し口が切り替わります。

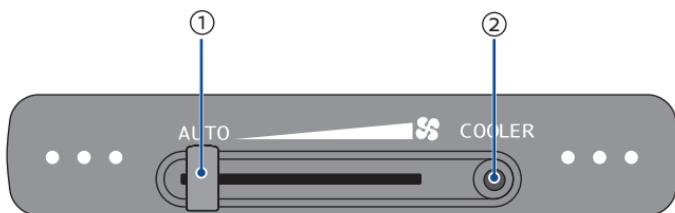
⑤ 温度調節スイッチ

温度を調節します。
▲…温度が高くなる
▼…温度が低くなる

リヤクーラー★

各部名称と機能

前席用エアコン作動時に使えます。また、前席で REAR ON スイッチを押していない場合でも、クーラースイッチを押すと使うことができます。リヤクーラー操作部は、セカンドシートの天井部中央にあります。



① 風量切り替えレバー

レバーを動かし、風量を調節します。「AUTO」位置にあるときは、風量が自動調節されます。
左側：風量が少なくなる
右側：風量が多くなる

② クーラースイッチ

リヤクーラーの ON・OFF が切り替わります。

ヒーターシート★

ヒーターシートを使う

運転席と助手席のシートを温めるときに使います。

- ・シートを早く温めるときは、スイッチの HI 側を押します。
- ・保温するときはスイッチの LO 側を押します。
- ・止めるときは、スイッチを中立位置にします。

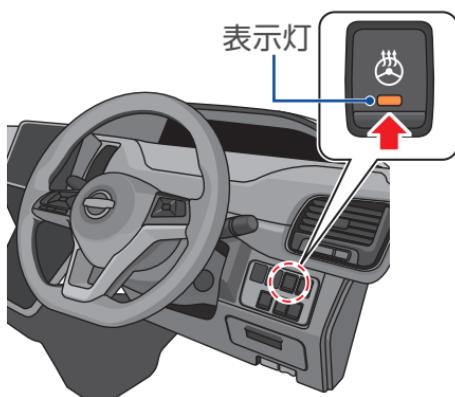


ステアリングヒーター★

ステアリングヒーターを使う

スイッチを押すと約 30 分間作動します。(スイッチの表示灯が点灯)

- ・作動中は、ハンドルの表面温度が約 20°C を超える温度を保ちます。
- ・作動中にスイッチを押すと作動が停止します。(スイッチの表示灯が消灯)



e-POWER Drive

e-POWER システムは 3 つのドライブモードがあります。目的に応じて使い分けてください。

各モードの働き

モード (表示灯)	シフト ポジ ション	アクセルペダル OFF 時の 減速度合い	特徴
NORMAL 	D	ガソリンエンジン車のエンジンブレーキと同等	ガソリンエンジン車と同等の走りを楽しめるモード - モーター駆動特有のレスポンスよくスマートな加速 - ガソリンエンジン車に近い感覚でのアクセルペダル OFF での減速
	B	やや強い	
S (Smart) 	D	強い	EV らしさと燃費を両立させたモード - モーター特性を際立たせてアクセルペダル操作に瞬時に応じる高レスポンスを実現 - アクセルペダル OFF 時の回生ブレーキを強めて、多くのエネルギーを回収 - アクセルペダル操作のみで楽に速度調整が可能
ECO 	D	強い	燃費重視のモード - 無駄なエネルギー消費を抑えるための穏やかな加速性能 - アクセルペダル OFF 時の回生ブレーキを強めて、多くのエネルギーを回収 - アクセルペダル操作のみで楽に速度調整が可能

- ※ NORMAL モード → S (Smart) モード → ECO モードの順に燃費がよくなります。
- ※ S (Smart) モードや ECO モードのときは、シフトポジションを B に切り替えることはできません。



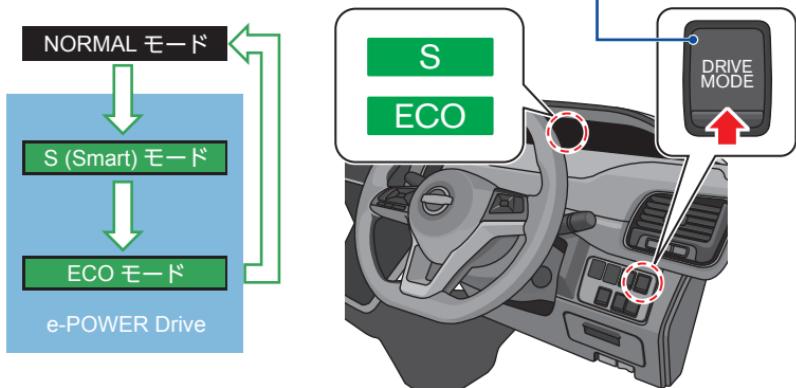


- ・S (Smart) モードおよび ECO モードではアクセルペダル OFF 時の回生力を高めています。そのため、想定していた停車位置よりも手前で停車する場合があります。
また、狭い駐車場などで、ハンドルをいっぱいに切りながらアクセルペダルを ON から OFF にしたときに、減速度合いが強く感じられる場合があります。
- ※S (Smart) モードおよび ECO モードでは、アクセルペダル OFF による減速で停車する場合がありますが、ブレーキ力を保持して停車させ続ける機能はないため、停車時はブレーキペダルを必ず踏み込んでください。
- ・長い下り坂でリチウムイオンバッテリーが満充電になった場合や、低温時、滑りやすい路面では減速度合が小さくなることがあります。
- ・S (Smart) モード、ECO モードのときは、ブレーキを踏まずに減速した場合でも減速度合いに応じて制動灯が点灯します。

モード	シフト ポジション	クリープ
NORMAL	D	常時発生
	B	
S (Smart)	D	停車後、ブレーキペダルを離すと発生
ECO	D	

モードの切り替えかた

パワースイッチが ON のとき、e-POWER モードスイッチを押すごとに切り替わります。



- ・シフトポジションは、セレクトレバーを操作して切り替えます。
→セレクトレバー: P.32

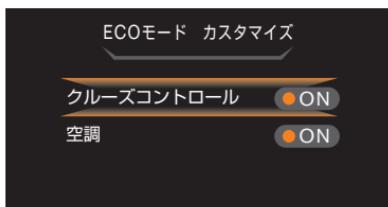
ECO カスタマイズ

ECO カスタマイズは、インテリジェント クルーズコントロール[★]とエアコン機能を燃費重視の設定に切り替える機能です。ドライブモードが S (Smart) モードまたは ECO モードのときにカスタマイズが可能です。

- ECO カスタマイズで「クルーズコントロール」を ON (燃費優先) にすると、インテリジェント クルーズコントロールの加速度が OFF 時に比べて穏やかになり、燃費向上を図ります。
- ECO カスタマイズで「空調」を ON (燃費優先) にすると、OFF 時に比べて暖房 / 冷房の効きが弱まり、燃費向上を図ります。

ON・OFF のしかた

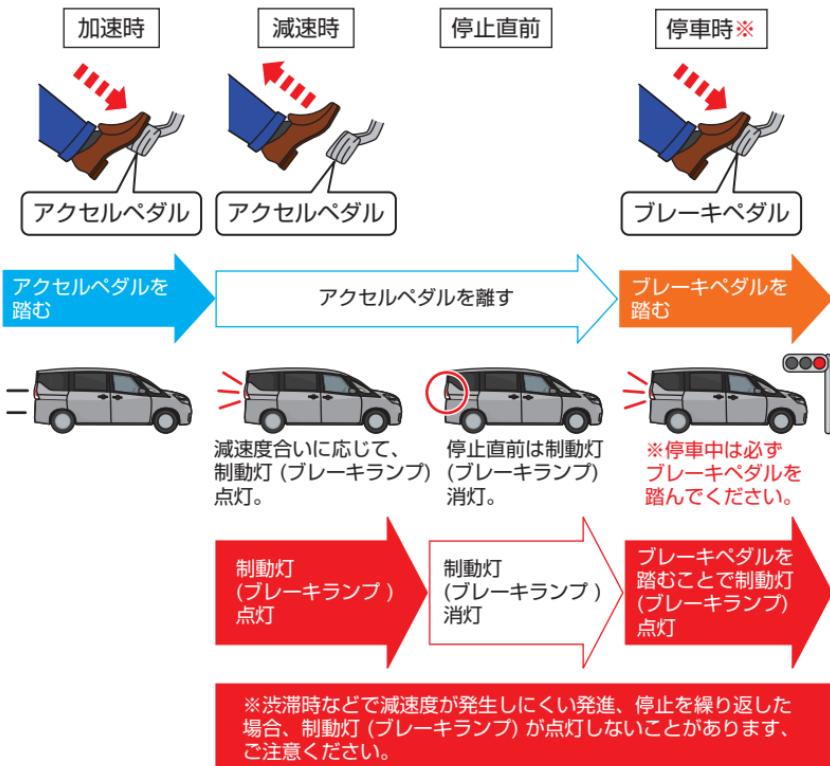
- アドバンスドドライブアシストディスプレイで「設定⚙」⇒「画面カスタマイズ」⇒「ECO モード カスタマイズ」を選択すると、ECO モード時の燃費重視機能の ON・OFF を切り替えることができます。
- S (Smart) モードカスタマイズについては同様に「Smart モード カスタマイズ」を選択し、ON・OFF を切り替えることができます。



- 次のような場合、ECO カスタマイズで「空調」を ON (燃費優先) にしていても、エアコン機能が優先となります。
 - エアコンの温度設定を 28°C以上、または 18°Cにしたとき。
 - デフロスターを使用したとき

S (Smart) モード、ECO モード時の制動灯（ブレーキランプ）について

アクセルペダルを離した際、発生する減速度合いに応じて制動灯（ブレーキランプ）を点灯させて、停止直前～停車中に消灯します。停車中はブレーキペダルを踏むことで、制動灯（ブレーキランプ）が点灯します。安全のために必ずブレーキペダルを踏んでください。

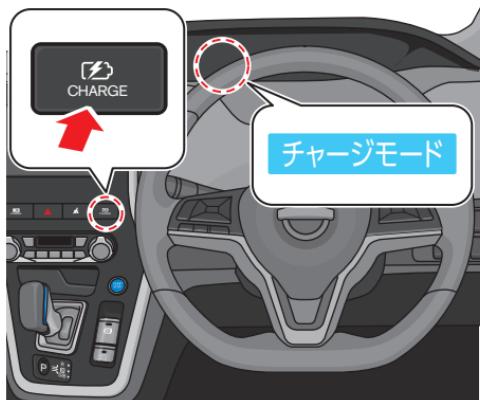


チャージモード

チャージモードスイッチを押すと強制的にエンジンを始動し、リチウムイオンバッテリーの充電を行います。マナーモードによる走行距離を長くしたいとき、あらかじめリチウムイオンバッテリーを充電するモードです。

ON・OFF のしかた

- 走行可能表示灯が点灯しているとき、チャージモードスイッチを押すごとに、チャージモードの ON・OFF が切り替わります。
- ON にするとアドバンスドドライブアシストディスプレイにチャージモードインジケーターが点灯します。



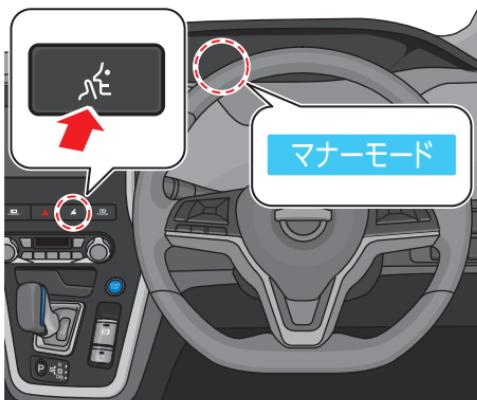
- 💡
- チャージモード作動中にマナーモードスイッチを押すと、チャージモードが解除されマナーモードに切り替わります。
 - チャージモードは、ドライブモードが S (Smart) モード、ECO モードのときに使用できます。

マナーモード

マナーモードスイッチを押すと、エンジンの始動を極力抑えて走行することができます。バッテリー電力だけで走行するので、早朝や深夜の住宅街など、静かに走行したいときに使用するモードです。

ON・OFF のしかた

- ・走行可能表示灯が点灯しているとき、マナーモードスイッチを押すごとに、マナーモードの ON・OFF が切り替わります。
- ・ON になるとアドバンスドドライブアシストディスプレイにマナーモードインジケーターが点灯します。



- ・チャージモードを ON にしてリチウムイオンバッテリー残量を増やしておくと、バッテリー電力だけで走行できる距離が長くなります。
- ・マナーモードは、ドライブモードが S (Smart) モード、ECO モードのときに使用できます。

車両接近通報装置

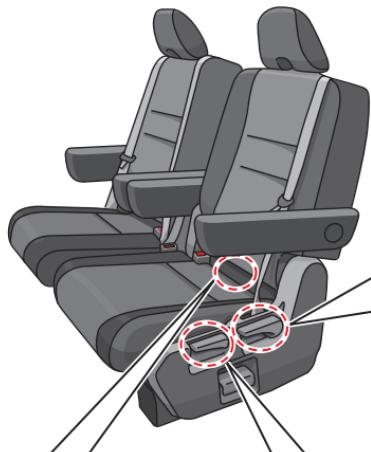
車両接近通報装置は、低速走行中に車両が接近していることを音で歩行者に知らせるシステムです。



- ・次の場合に作動します。
- ・発進時、車速が 30km/h 以内のとき
- ・減速時、車速が 25km/h 以下になったとき
- ・シフトポジションが R のとき

シートの調節のしかた

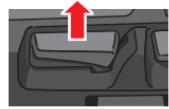
セカンドシート



- 背もたれの角度調節（リクライニング）
- リクライニングレバーを引いたまま、背もたれを動かします。



- 前後位置の調節（スライド）
- レバーを引いたまま、シートを動かします。
- シート背面部にもレバーがあります。



助手席側のみ



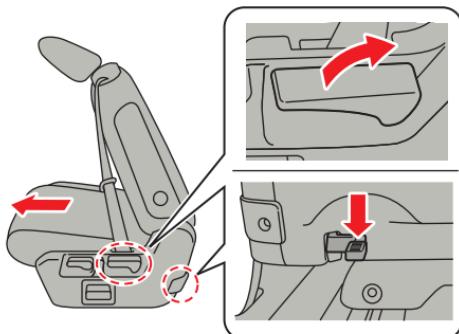
ウォークイン機構

1

リクライニングレバーまたはシート背面下部のペダルを踏んで、背もたれを前に倒します。

2

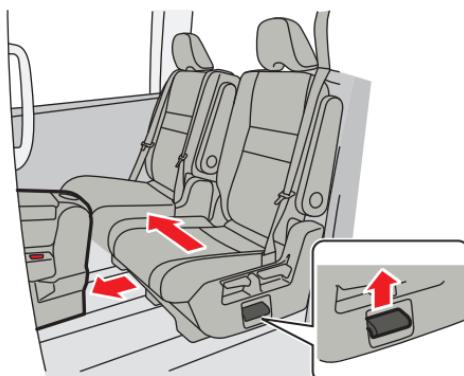
セカンドシートを前方にスライドさせます。元に戻すときは、シートを後方にスライドさせたあと、背もたれを起こして固定します。



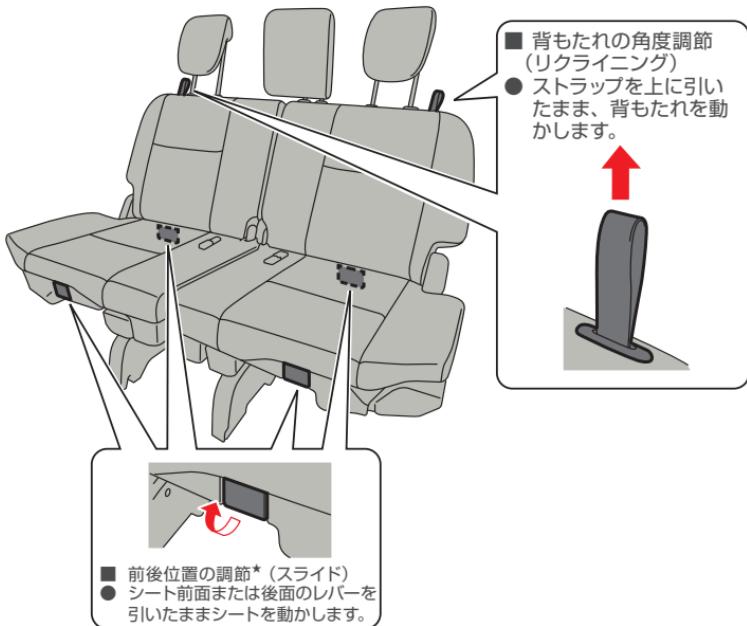
横スライド機構（運転席側★／助手席側）

サードシートへ乗り降りするときなどに、セカンドシートを横にスライドさせることができます。

シート横側にある横スライドレバーを上げたまま、セカンドシートを動かします。



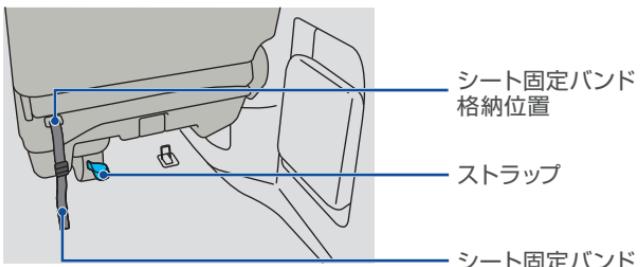
サードシート



サードシートの格納のしかた

サードシートを跳ね上げ、ラゲッジスペースを広げることができます。

運転席側サードシートの例



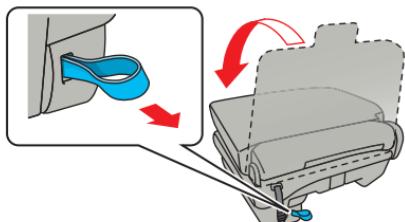
1

サードシートを格納する前に、中央席ヘッドレストを外し、ラゲッジルームの格納場所に格納してください。

→中央席ヘッドレストの格納のしかた：P.55

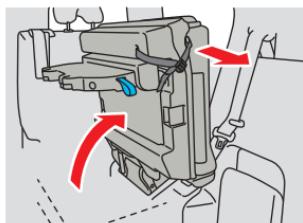
2

青色のストラップを引いてシート脚部のロックを解除します。
(同時に背もたれが前に倒れます。)



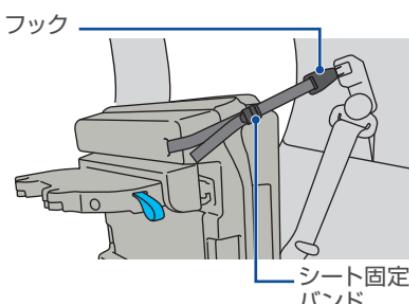
3

シートを窓側へ折りたたみ、シート固定バンドを引き出します。



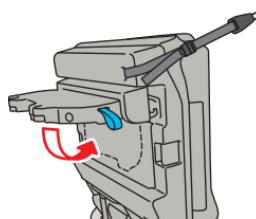
4

シート固定バンドのフックを側面のフック掛けに確実に引っ掛けます。
シート固定バンドの長さを調節して、シートをしっかりと固定します。



5

シート脚部を折りたたみます。



6

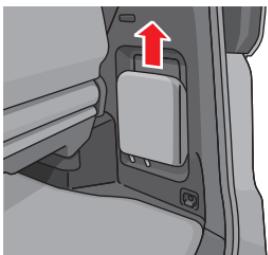
元に戻すときは、シート固定バンドをシートに格納してから、横に折りたたんだときと逆の手順で操作します。
背もたれを戻すときは、ストラップは引かずに背もたれを起こします。



中央席ヘッドレストの使いかた

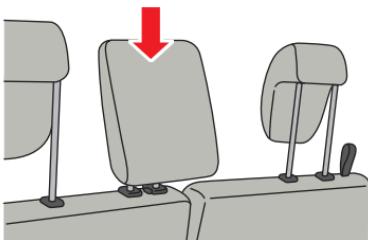
1

ラゲッジルームから
ヘッドレストを取り出
します。



2

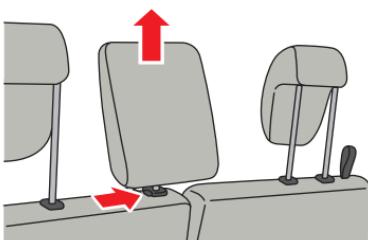
ヘッドレストを中央席
にロックするまで差
し込みます。



中央席ヘッドレストの格納のしかた

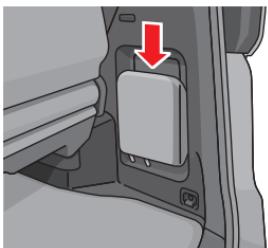
1

ボタンを押しながら
ヘッドレストを外しま
す。



2

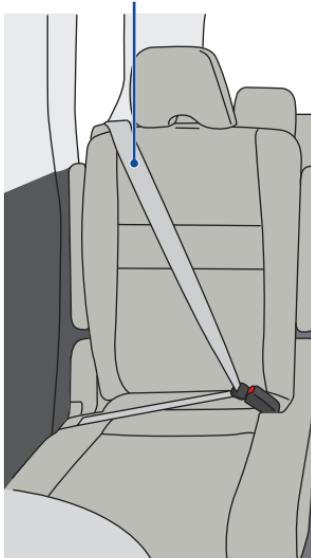
ラゲッジルームの運
転席側格納位置に収
納します。



シートベルトの着用

セカンドシートのベルト位置

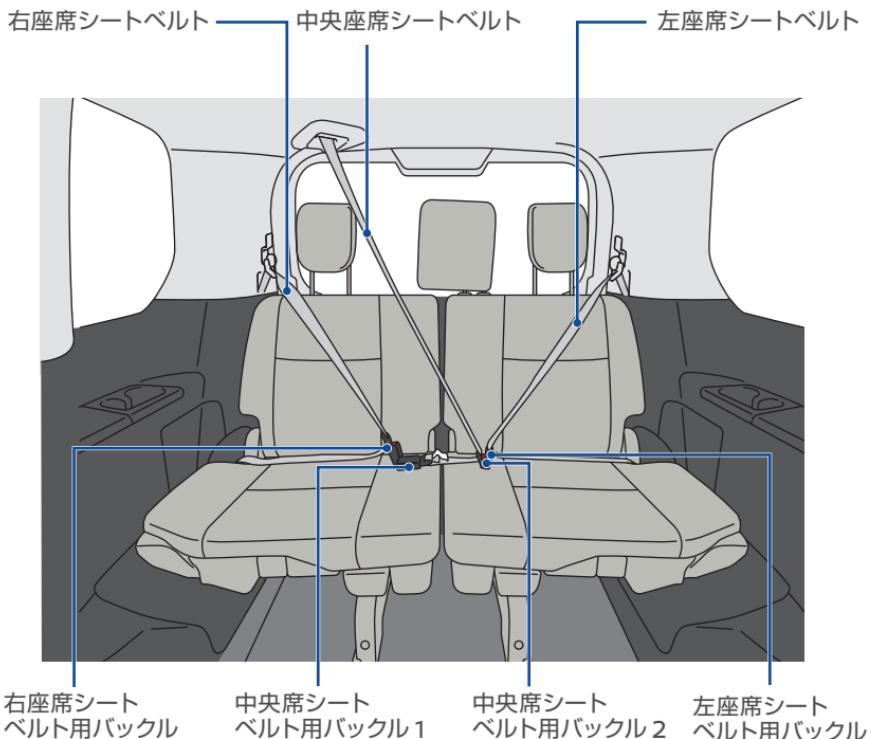
右座席シートベルト



左座席シートベルト



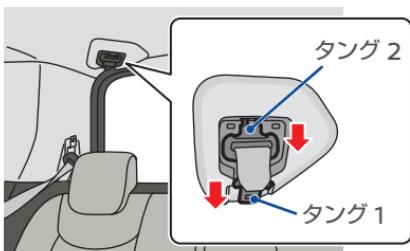
サードシートのベルト位置



サードシート中央席シートベルトの着用のしかた

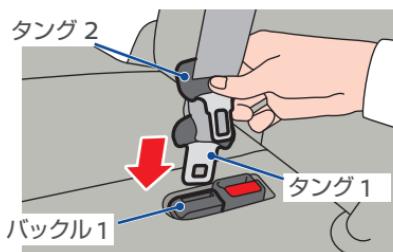
1

タング1を車両後方側の格納部から抜き出したあと、タング2を車両前方側の格納部から抜き出します。



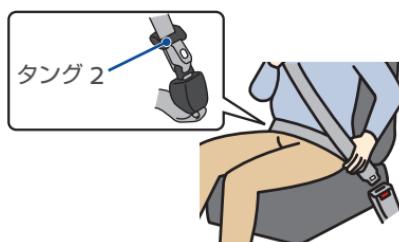
2

タング1をゆっくり引き出し、バックル1に“カチッ”と音がするまで確実に差し込みます。



3

タング2を持ってベルトをゆっくり引き出し、ベルトを腰骨のできるだけ低い位置に掛け、たるみがないように密着させます。



4

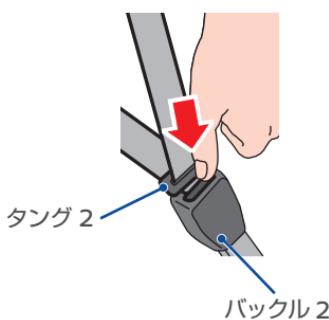
ベルトがねじれないようにして、タング2をバックル2に“カチッ”と音がするまで確実に差し込みます。



サードシート中央席シートベルトの格納のしかた

1

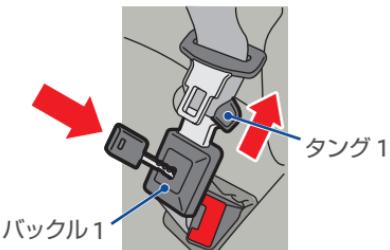
バックル2のボタンを押し、タング2を持ってゆっくり戻します。



便利機能を使いこなそう

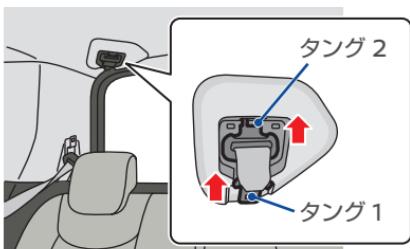
2

バックル1の穴にキーなどを押し込んでロックを解除し、タング1を持ってゆっくり格納場所まで戻します。



3

タング2を車両前方側の格納部に差し込み、タング1を手で押さえながらタング1のベルトを少し引き出し、車両後方側の格納部に差し込みます。

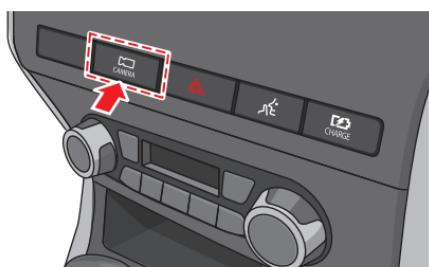


インテリジェントアラウンドビューモニター(移動物検知機能付)★

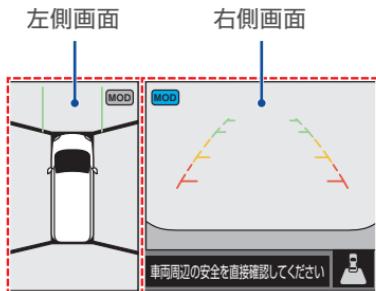
インテリジェントアラウンドビューモニターは自車両を上から見ているような映像を映し出すことで、駐車時の運転操作を支援します。

インテリジェントアラウンドビューモニターを表示する

パワースイッチがONのとき、シフトポジションをRにするか、
CAMERAスイッチを押すとインテリジェントアラウンドビューモニターを表示します。



インテリジェント アラウンドビューモニターの表示切替



シフトポジションを **R** にする、または **CAMERA** スイッチを押し、インテリジェント アラウンドビューモニターが ON の状態で、
 CAMERA スイッチを押すと、次のように左側画面が切り替わります。



CAMERA

スイッチを押して ON にしたとき

トップビュー ⇒ サイドブラインドビュー ⇒ インテリジェント アラウンドビューモニター OFF ⇒ トップビュー

シフトポジションを **R** にして ON にしたとき

トップビュー ⇒ サイドブラインドビュー ⇒ トップビュー

- ・ インテリジェント アラウンドビューモニターの右側画面は、シフトポジションが **R** のときは車両後方が表示され、**R** 以外のときは車両前方が表示されます。

移動物 検知機能

車庫入れや駐車場からの発進時などに自車周辺の移動物を検知し、黄色い枠で移動物をドライバーにお知らせする機能です。

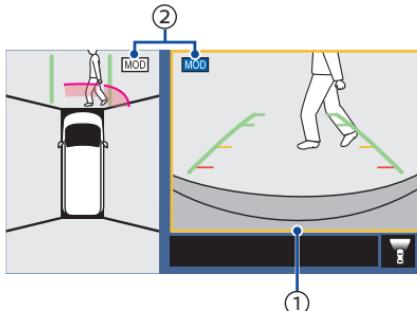
① 移動物 検知表示

移動物を検知したときに、黄色い枠でお知らせします。

② 移動物 検知機能

作動状態アイコン

移動物 検知機能が作動する側の画面のアイコンを青色で表示します。



- ・ 移動物 検知機能を OFF にしたい場合は、メーター内のディスプレイで設定することができます。取扱説明書をご覧ください。

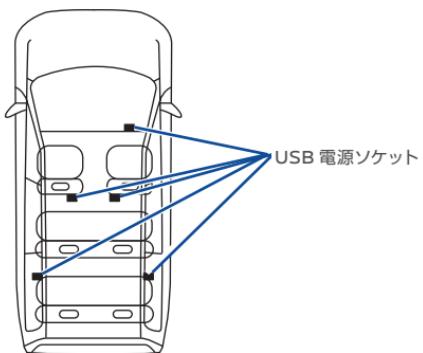
USB 電源ソケットの位置、使いかた

USB 電源ソケットはモバイル機器などの充電専用です。パワースイッチが ON または OFF (ACC 状態) のとき使えます。

USB 電源ソケットの位置

USB 電源ソケットは以下の場所にあります。

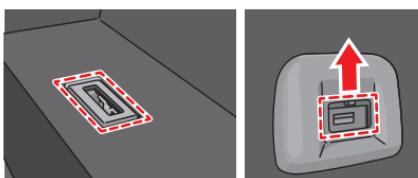
- －運転席のアッパーBOX内
- －運転席シートと助手席シートの背面*
- －サードシート左右のカップホルダーの横*



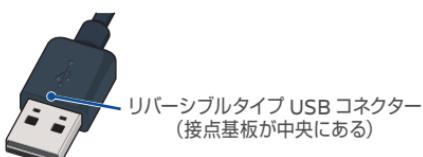
→ オート ACC (アクセサリー) : P.19

USB 電源ソケットの使いかた

- ・向きに注意して、USB ケーブルを USB 電源ソケットに差し込みます。
- ・運転席と助手席の背面部にある USB 電源ソケット*は、ふたを上にスライドさせて USB ケーブルを差し込みます。



- 💡**
- ・容量は1か所につき、5V (ボルト)、2.4A (アンペア)、12W (ワット) です。
 - ・助手席側 USB 電源ソケットについては、日産販売会社にお問い合わせください。
 - ・両面挿し (リバーシブル) 対応の USB ケーブルは、USB 電源ソケットの内部端子を破損するおそれがあるので使用しないでください。



注意

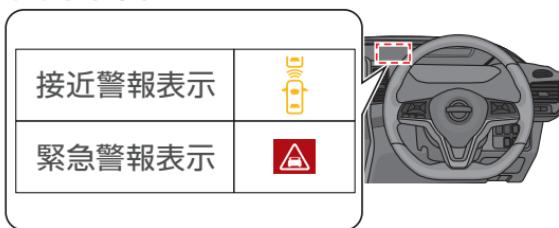
走行支援機能は運転者の安全運転を補助するものであり、あらゆる状況での衝突を回避するものではありません。運転者はシステムに頼った運転をせず、周囲の状況に注意して常に安全運転を心がけてください。

※重要な警告・注意事項がありますので、ご使用の前には必ず取扱説明書をお読みください。

インテリジェント エマージェンシーブレーキ

インテリジェント エマージェンシーブレーキは前方の車両や歩行者と衝突する危険を察知した場合、警報とブレーキにより、ドライバーの衝突回避操作を支援します。

- 衝突するおそれがあると判断すると、警報音とともにメーター内のインテリジェント エマージェンシーブレーキ表示（接近警報表示）が黄色に点滅します。
- 運転者の衝突回避操作が不十分で、衝突危険性が高まったときには、メーター内のインテリジェント エマージェンシーブレーキ表示が赤色の緊急警報表示になり、警報音とともに軽いブレーキがかかります。
- さらに衝突の危険性が高まったときには、衝突の直前に強いブレーキがかかります。



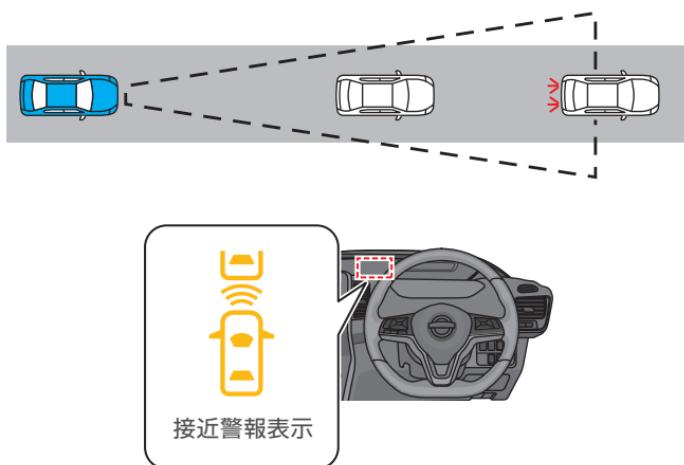
- インテリジェント エマージェンシーブレーキは、約 10 ~ 80km/h の範囲で作動します。ただし、歩行者に対しては約 60km/h 以上では作動しません。
- アクセルを強く踏み込んだり、ハンドルを大きく、または素早く切る、前方の車両や歩行者との衝突の危険がなくなったと判断すると、ブレーキの作動は解除されます。

OFF のしかた

- ・メーター内のディスプレイで OFF にできます。詳しくは取扱説明書をご覧ください。
 - ・インテリジェント エマージェンシーブレーキを OFF にするとメーター内の表示灯  が点灯します。
-  • 設定を OFF にした場合でも、再度 e-POWER システムを始動させると ON になります。
- ・インテリジェント エマージェンシーブレーキを OFF にするとインテリジェント FCW (前方衝突予測警報)、および踏み間違い衝突防止アシストも OFF になります。
- インテリジェント FCW (前方衝突予測警報): P.64
→ 踏み間違い衝突防止アシスト: P.69

インテリジェント FCW（前方衝突予測警報）

インテリジェント FCW（前方衝突予測警報）は前方を走行する2台前の車両を検知し、急な減速などにより、自車の回避操作が必要と判断した場合には、アドバンスドドライブアシストディスプレイの接近警報表示が黄色に点滅するとともに警報音（ブザー）を鳴らして、運転者に注意を促します。



- 💡 インテリジェント FCW（前方衝突予測警報）は、車速が約 5km/h 以上で作動します。

OFF のしかた

- ・ インテリジェント エマージェンシーブレーキを OFF になるとインテリジェント FCW（前方衝突予測警報）、および踏み間違い衝突防止アシストも OFF になります。

➡ インテリジェント エマージェンシーブレーキ : P.62

➡ 踏み間違い衝突防止アシスト : P.69

- 💡 インテリジェント FCW（前方衝突予測警報）のみ OFF することはできません。

クルーズコントロール★

クルーズコントロールをセットするとアクセルペダルを踏まなくても、一定の速度で走行でき、ハンドル右側に付いているスイッチで設定・操作できます。

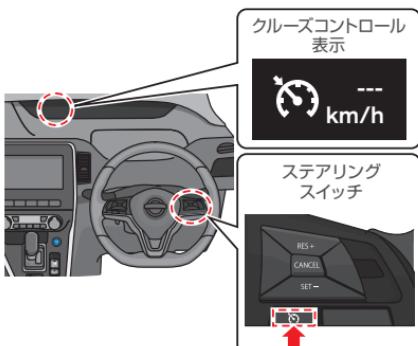
プロパイロット付車については、クルーズコントロールと同様の機能であるプロパイロットの定速制御機能をお読みください。

☞ プロパイロット : P.66

セットのしかた

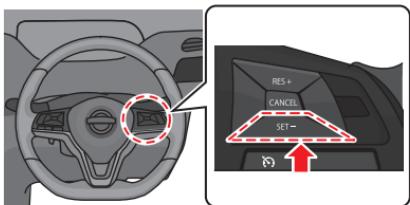
1

- ステアリングスイッチの
スイッチを押します。
- クルーズコントロール表示が点灯します。



2

- 設定したい車速になったら
SET - スイッチを押します。
- SET - スイッチを押したときの車速が設定車速になります。

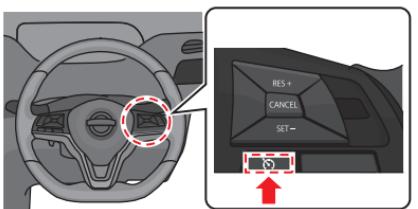


💡 クルーズコントロールは、走行中に車速が約 40km/h 以上で任意の速度にセットできます。

解除のしかた

スイッチを押します。

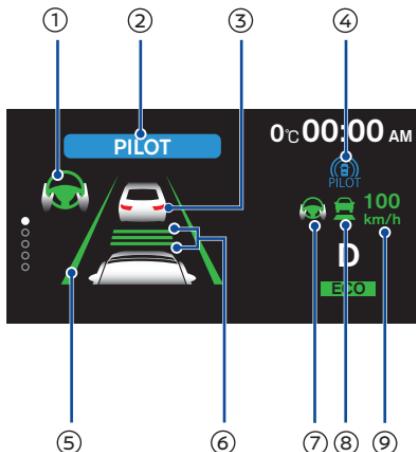
💡 CANCEL を押す、またはブレーキペダルを踏んでも一時的に解除されます。



プロパイロット★

プロパイロットは、運転者が設定した車速を上限に先行車と車速に応じた車間距離を保ちながら、車線中央付近を走行するための運転操作を支援します。

プロパイロット表示



- ① ハンドル支援の作動状態を色で表示します。
(ハンドル支援中は緑色に点灯します)
- ② プロパイロットが作動すると表示します。
(プロパイロット作動中は青色で点灯します)
- ③ 先行車検出の有無をお知らせします。
(先行車を検出すると、車両が表示されます)
- ④ プロパイロットの作動状態を色で表示します。
(プロパイロットが ON になると白色で点灯し、作動を開始すると青色で点灯します)
- ⑤ 車線検出の有無をお知らせします。
(車線を検出しハンドル支援が作動すると、緑色に点灯します)
- ⑥ 車間設定を表示します。
(車間距離の設定状況を表示します)
- ⑦ ハンドル支援の作動状態を色で表示します。
(ハンドル支援中は緑色に点灯します)
- ⑧ 車速制御の作動状態を色と形で表示します。
(定車間制御中は緑色に点灯、定速制御中は緑色の線画で表示します)
- ⑨ 設定車速を表示します。



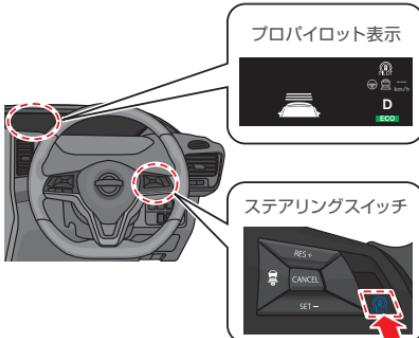
・グレード、オプションなどにより表示は異なります。

セットのしかた

1

ステアリングスイッチの  スイッチを押します。

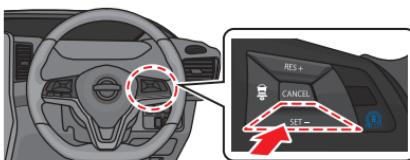
- メーター内ディスプレイにプロパイロットの状態が表示されます。



2

設定したい速度まで
加速または減速し、
 SET- スイッチを
押します。

- SET- スイッチを押したときの車速が設定車速になりプロパイロットの制御を開始します。



- プロパイロットにより停止状態を保持しているときに、先行車に続いて発進するときは、 RES+ スイッチを押すか、アクセルペダルを踏みます。
-  スイッチを ON になるとインテリジェント BSI (後側方衝突防止支援システム)、インテリジェント LI (車線逸脱防止支援システム) も ON になります。
-  スイッチを約 1.5 秒以上押すと、定速制御機能に切り替わり、アクセルペダルを踏まなくても、一定の速度で走行することができます。(ハンドル制御や車間制御は行いません。)

解除のしかた



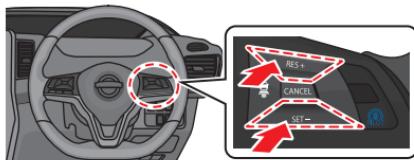
を押します。



- プロパイロットにより停止状態を保持しているときに、プロパイロットが解除されると電動パーキングブレーキがかかります。
-  CANCEL を押す、またはブレーキペダルを踏んでも一時的に解除されます。

設定車速の変更のしかた

- ・ 設定車速を上げたいときは、
RES+スイッチを押します。
- ・ 設定車速を下げたいときは、
SET-スイッチを押します。

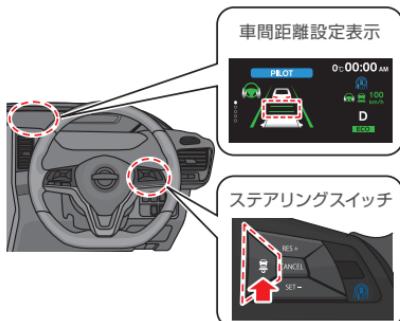


車間距離設定の変更のしかた

ステアリングの

スイッチを押します。

- ・ スイッチを押すごとに「長」→「中」→「短」→「長」の順に切り替わります。



・ グレード、オプションなどにより表示は異なります。

ハンドル支援機能の ON・OFF のしかた

- ・ 「設定 ◎」⇒「運転支援システム」⇒「プロパイロット」⇒「ハンドル支援」を選択するとプロパイロット作動時のハンドル支援機能の ON・OFF を切り替えることができます。

踏み間違い衝突防止アシスト

踏み間違い衝突防止アシストには、次の 2 つの機能があります。

低速加速抑制機能

- ・前進時（停車時含む）、進行方向に車両や歩行者、壁などの障害物を検出している場合に、アクセルペダルを必要以上に踏み込むと、警報とともに加速を抑制します。
- ・後退時（停車時含む）、進行方向に壁などの障害物を検出している場合に、アクセルペダルを必要以上に踏み込むと、警報とともに加速を抑制します。

低速衝突軽減ブレーキ機能

前進、後退時、進行方向の障害物を検知し、衝突するおそれがあるとシステムが判断すると、モーター出力の制御、およびブレーキをかけて衝突を回避、または被害の軽減をします。



- ・前方の車両、歩行者に対しては、車速約 0 ~ 25km/h の範囲で作動します。
- ・壁などの障害物に対しては、車速約 0 ~ 15km/h の範囲で作動します。
- ・アクセルペダルをゆっくりと踏んだ場合は、深く踏み込んでも作動しません。
- ・低速衝突軽減ブレーキ機能が作動したあとは、さらに障害物に近づいても再び作動はしません。
- ・次の場合は、低速加速抑制機能が解除され、通常の加速に戻ります。
 - アクセルペダルを一旦戻して踏みなおしたとき
 - 低速加速抑制機能が約 6 秒経過したとき

OFF のしかた

- ・インテリジェント エマージェンシーブレーキを OFF にすると踏み間違い衝突防止アシスト、インテリジェント FCW（前方衝突予測警報）も OFF になります。

→インテリジェント エマージェンシーブレーキ: P.62

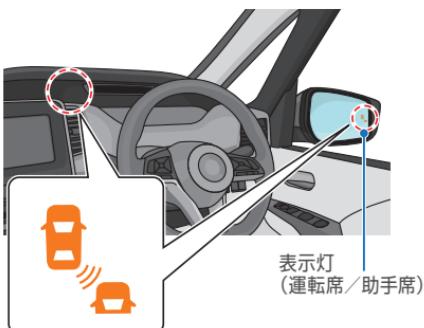
→インテリジェント FCW（前方衝突予測警報): P.64



- ・踏み間違い衝突防止アシストのみ OFF にすることはできません。

BSW (後側方車両検知警報)

車線変更をするとき、隣車線に車両がいる場合に警報によって運転者に注意を促します。



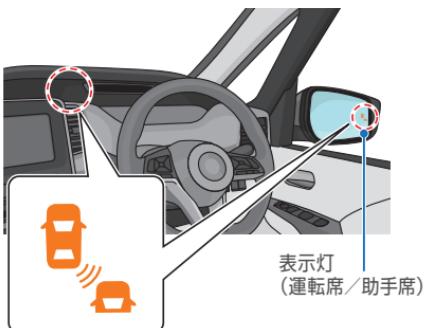
- BSW (後側方車両検知警報) は、約 30km/h 以上で作動します。
- 検知範囲については、取扱説明書をご覧ください。

ON・OFF のしかた

メーター内ディスプレイで ON・OFF を設定できます。詳しくは取扱説明書をご覧ください。

インテリジェント BSI (後側方衝突防止支援システム)

隣接車線に車両がいるときに運転者が車線変更を開始した場合、警報とともに車両をもとの車線内に戻す方向に力を発生し、隣接車両との接触を回避するよう支援します。



- インテリジェント BSI (後側方衝突防止支援システム) は、車速が約 60km/h 以上で作動します。
- プロパイロット付車は、プロパイロットを ON にするとインテリジェント BSI (後側方衝突防止支援システム) も ON になります。
- プロパイロット無車は、セーフティ・シールドスイッチを押すと ON になります。

ON・OFF のしかた

メーター内ディスプレイで ON・OFF を設定できます。詳しくは取扱説明書をお読みください。

インテリジェント LI (車線逸脱防止支援システム)

運転者が意図せず走行車線から逸脱しそうになると、警報音と表示とともにブレーキを制御し、車両の向きを変える方向に制御力を短時間発生させ、運転者が自車を車線内に戻す操作を促します。



- 💡 インテリジェント LI (車線逸脱防止支援システム) は、車速が約 60km/h 以上で作動します。
- プロパイロット付車は、プロパイロットを ON にするとインテリジェント LI (車線逸脱防止支援システム) も ON になります。
- プロパイロット無車は、セーフティ・シールドスイッチを押すと ON になります。

ON・OFF のしかた

メーター内ディスプレイで ON・OFF を設定できます。詳しくは取扱説明書をご覧ください。

LDW（車線逸脱警報）

運転者が意図せず走行車線から逸脱しそうになると、警報音と表示によって運転者に注意を促します。



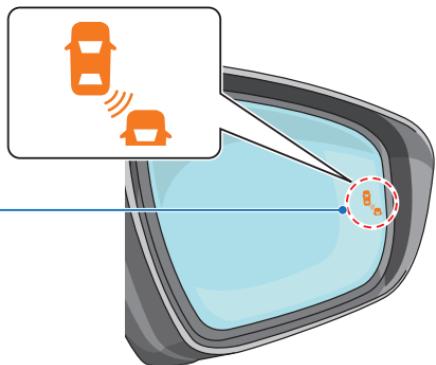
- ・ LDW（車線逸脱警報）は、約 60km/h 以上で作動します。

ON・OFF のしかた

メーター内ディスプレイで ON・OFF を設定できます。詳しくは取扱説明書をご覧ください。

RCTA（後退時車両検知警報）

後退時に後方を横切ろうとする車両に衝突するおそれがあるとき、警報によって運転者に注意を促します。



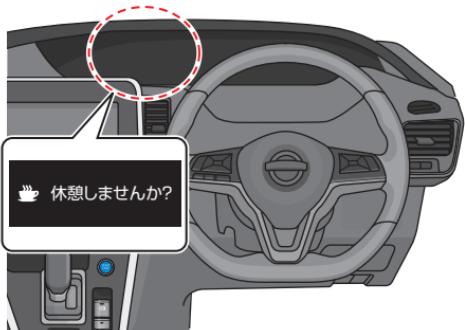
- ・ RCTA（後退時車両検知警報）は、約 8km/h 以下で作動します。

ON・OFF のしかた

メーター内ディスプレイで ON・OFF を設定できます。詳しくは取扱説明書をご覧ください。

インテリジェント DA (ふらつき警報) ★

ハンドル操作から運転者の注意力が低下していると判断したときに、警報音と表示によって運転者に休憩を促します。



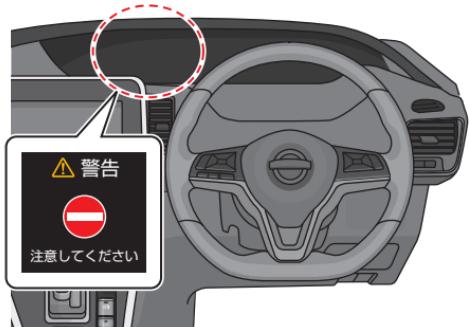
- 💡 インテリジェント DA (ふらつき警報) は、約 60km/h 以上で作動します。

ON・OFF のしかた

メーター内ディスプレイで ON・OFF を設定できます。詳しくは取扱説明書をご覧ください。

進入禁止標識検知

前方の車両進入禁止標識を検知し、一方通行路へ進入する可能性がある場合にはアドバンスドドライブアシストディスプレイに警告表示します。

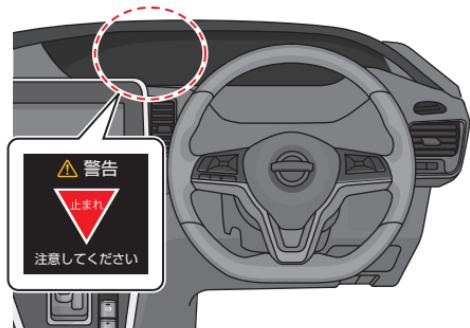


ON・OFF のしかた

メーター内ディスプレイで ON・OFF を設定できます。詳しくは取扱説明書をご覧ください。

一時停止標識検知

前方の一時停止標識を検知した場合にはアドバンスドドライブアシストディスプレイに表示します。

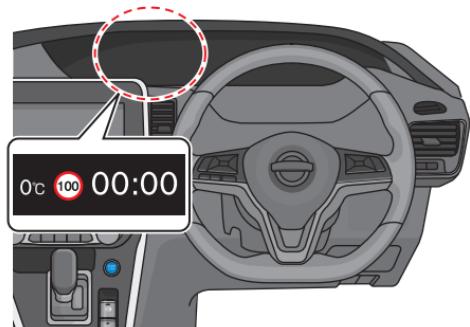


ON・OFF のしかた

メーター内ディスプレイで ON・OFF を設定できます。詳しくは取扱説明書をご覧ください。

最高速度標識検知

前方の最高速度標識を検知した場合には、アドバンスドドライブアシストディスプレイ、およびインフォメーショングループ **i** に表示されます。



ON・OFF のしかた

メーター内ディスプレイで ON・OFF を設定できます。詳しくは取扱説明書をご覧ください。

付録：納車時ご説明項目（セレナ）

ドアの施錠・解錠*

- インテリジェントキーの使いかた
- スライドドアの開けかた
(車室内から／車外から)
- デュアルバックドアの開けかた



始動・停止*

- 始動・停止のしかた
- オートACC機能について
- インテリジェントキーの電池が切れたときは



ドアミラー

- ドアミラーの調節・格納のしかた



インテリジェントルームミラー

- インテリジェントルームミラーの使いかた



電動パーキングブレーキ

- 電動パーキングブレーキの使いかた



ライトスイッチ

- ライトスイッチの使いかた
- インテリジェントオートライトシステムの使いかた
- ハイビームアシストの使いかた
- アダプティブLEDヘッドライトシステムの使いかた



ワイパー・ウォッシャー

- 間けつワイパーの使いかた
- リヤワイパーの使いかた



アドバンスドドライブ

アシストディスプレイ

- 表示項目と切り替えかた



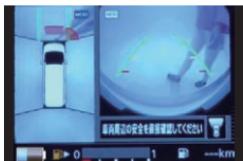
USB 電源ソケット

- USB 電源ソケットの使いかた



インテリジェント アラウンドビューモニター

- インテリジェントアラウンドビューモニターの使いかた
- ソナー ON/OFF のしかた



エアコン★

- 前席／後席エアコンの使いかた



インテリジェント エマージェンシーブレーキ★

- 機能の説明
- 作動条件



セカンドシート サードシートの使いかた★

- シートアレンジのしかた
- サードシートの跳ね上げかた
- シートベルトの使いかた
- サードシートセンターへッドレストの格納方法



プロパイロット/ クルーズコントロール

- 機能の説明
- スイッチの使いかた



給油口

- 給油口の開けかた
- 給油のしかた



パンク修理キット★

- 格納位置



詳しい操作のしかた

- 簡単早わかりガイド
 - ・ビジュアル版の QR コードをご案内
- 簡単早わかり動画
- 取扱説明書
 - ・「トラブルがおきたときは」の章をご案内

★お問い合わせの多い項目

Memo